

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

3/Color  
Black

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

A

1

2

3

4

5

6

M

8

9

10

11

12

13

14

15

B

17

18

19

助字詳解

二

ホ 4

1867

2

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

門 20  
號 2749  
卷 2

1867  
2

助字詳解卷之二目次

耳 初丁

已 二丁

而已 同上

爾 三丁

以 同

用 八丁

式 九丁

庸 同上

於 十丁

于 十一丁

乎 十四丁

則 十五丁

乃 十七丁

迺 十八丁

載 十九丁

即 同上

輒 廿一丁

便 廿二丁

又 廿三丁

復 同上

亦 廿五丁

覆 同上

也 廿六丁

還 同上

此 廿七丁

斯 廿八丁

維 廿九丁

侯 三十丁

弗 三十丁

不 世二丁

未 世三丁

非 同上

匪 世六丁

無 世七丁

毋 四十二丁

莫 四十三丁

微 四十四丁

靡 四十五丁

亡 單字

罔 同上

蔑 四十七丁

勿 四十八丁



助字詳解卷之二

平安 皆川愿伯恭

著

男允君猷 全

門人 中川恪慎卿 校

耳

此字ハ人ノ其物ニ付ケテ評シ往クニ先ノツ下リテ此  
スヂニユクフシテ言フコ、ロニテ。俚語ニ高カ是チ  
ヤト言フ氣味ニ用ユル字ナリ。  
古集名ニメテ、折レルバカリグ女郎花我才チニキト  
人ニカタルナ。此バカリグトイヘルカ耳ノ字ヲ用タル  
意モチニ叶フナリ。  
論語ニ子游武城ノ宰タリシニ孔子子游ニ謂テ女得人

焉耳矣乎トハ其方ノ武城ノ治メカ父其方ニシテハ格  
 別ニヨキ手キワナリヨキ相談人ヲ得タルカ左様ニナ  
 リタルスチヂヤト云様ナルガナカト言給ヘルナ  
 リ孟子ニ殺人之父人亦殺其父殺人之兄人亦殺其兄然  
 則非自殺之也一問耳トイヘルモ殺ス人ヲ一ツヘダテ  
 タレモ我が人之父兄ヲ殺セルニヨリテ我父兄ヲ人  
 殺スニシタルナレバ但一ツヘダテタリト云ガスチ  
 ニテ自ラ殺スノトナルナリト云ルナリ莊子大宗  
 師ニ人ガ死シテモ造化ノ為ス所ニ打カセズシテ人  
 耳人耳ト云ハ造化ガ以テ不肖之人トセントイヘル  
 モ人ニ生レテユクガオレカスチヂヤクト云ナリ世  
 説ニ周仲智酒ニ酔テ其兄伯仁ニ君才不如弟而横得重  
 名ト謂テ蠟燭ノ火アルヲ舉テ伯仁ニ擲シニ伯仁笑曰  
 阿奴火攻固出下策耳トイヘルハ火攻ニセントセルハ  
 策ノ中ニテモ其下策ノ方ヘキヲ出シタト云ナリ  
 スチヂヤト云氣味ナリ言語ニ陸大尉王丞相ニ詣テ事

己

ヲ咨リ過テ後ニ輒翻異ニセルヲ王公其如此ヲ惟ニ元  
 後以問陸陸曰公長民短臨時不知所言既後覺其不可耳  
 トイヘルハ公ハ背高久我ハ短キニヨリテ咨リシ時ハ  
 何事ヲ言タルカ知ラス後ニ左様ニテハ不可ナリト氣  
 ガツクトガ其最前ト相違ヲ致シタルスチヂヤトイフ  
 ナリ  
 此字ハ事ノ段々ニナリユキタルガモハヤツレニテス  
 ミタルヲ語ル字ニテヤハリ既己ノ己ノ字ノコ、ロナ  
 レトアレヲ語末ニオク故ニ其使ヒ方ノフリ少シカハ  
 ルヤフニナリタルナリ老子ニ天下皆知美之為美斯惡  
 己皆知善之為善斯不善己ト云ル天下ノ人皆美ノ美タ  
 ルヲ知ルヤフナルニユクハ醜惡ヲ醜惡トスルトガア  
 ルト云トガハヤツレニテスミアリト云コ、ロナリト  
 カク此己字ハ此上ニ言タル趣ニテ其事ノセニキニカ  
 カル筋ハモハヤ跡ヘノコラズ埒ノ明キタルトニセニ  
 トテ置ク字ナリ史記游俠傳ニ古布衣之俠靡得而聞己

ト云ルモ、貨殖傳ニ、夫、神農以前、吾不知己、トイヘル。並ニ此語ノ通リトシテ、フレキリニケテシマフニスルコ、ロニテ、用ヒタルナリ。劉孟傳ニ、周亞夫得、劉孟喜、曰、吳楚舉大事而不求孟、吾知其無能為己矣、トイヘル。ハ、己矣ハ、其無能為ニ屬シテ、吳楚ガ能クナスヲ無クシテ、モフフレキリナルヲニナツテアルト云フナリ。サテ其己矣ヲ知ニ屬シテ、吾心ニハツレヲ知レリト云フナリ。左僖八年ニ、楚ノ子玉ヲ殺セシヲ、晋侯聞之、而後喜可知也。曰、莫余毒也。トイヘル。ハ、余ニ毒スルヲハ出テ來ルマジキヲチヤ、モフコレニテト云ルキ三ナリ。此ハ而ト己トヲ併ヒタルヲ以テ、義ヲナセルナリ。二字共ニ解前ニ出セリ、而已ハ、ツレニシテモツテ、モフツレニテスムト云コ、ロナリ。論語ニ、子曰、辭達而已矣。ト云タマヘル。ハ、九辭ヲ言ヒ出スニハ、此方ノ心ニ思フ様子ガ向フノ人ニ達スレバ、ツレニテスムト云フナリ。曾子曰、夫子之道、忠恕而已。ハ、酒ヲ好ムト云フヲ、其通ニ言フ辭ハ、勿論ノナリ。

而己

爾

事ニヨリテハ、ワザト酒ハ好マズト云辭ニテ、却テ酒ヲ好ムコトヲ聞ユルコトアリ、イツレニモ、意ガ向フニ連スレバ、ツレニテスムト云フナリ。曾子曰、夫子之道、忠恕而已。ト云ルモ、而已矣ノコ、ロハ、同ジナリ。サレ、序テナガラケ様ノ処ノ文義ヲサバクニ、尤心ヲ付ケテ、其意ヲ取ル様ニスル心得アリ。此ハ孔子ノ曾子ニ吾道一以貫之ト云タマヒタルヲ以テ、右ニ付キテ諸門人ガ曾子ニ問テ、夫子ノ一ニシ以テツレヲ仕グセツケナラフヤト問タマヘルニ、其方ガ唯ト對ヘラレタルハ、何トイフワケノゾト問ヘルノ答ヘナレバ、夫子之道ハ、忠恕バカリナリトノ三ノ答ニテハ、事ノ分レモ立タズ、其上ニ、曾子ノ唯ノ答モ聞ヘヌトナルヲナルニ、後儒ノ解ニモ、此處心付カサリシト思ワル、ナリ。此ハ孔子ノ道ハ、詩禮ニ存シテ、フレヲ取マハシテ、其義ヲサハクニトカク人我ノ差別ヲ立ルヲナク、彼ガ心内ニ思アルヲモケ様ノゾニ遇テハ、我ニテ斯思ヘハ、彼モ斯ル思ヒニ

テアルベシトシテ其處ヲ合點スレバ夫子ノ道ハ即チ  
 凡ク血氣アルモノ、尊親スル道ナレバフレニモテバ  
 フレニテスムト云ルナリト心得ベシ孟子ノ王亦曰仁  
 義而已トイヘルハ我が仁義ヲ言フベキノミナラズ王  
 テモ曰仁義トアルニテフレニテスムトナリト云  
 ナリ左傳宣十二年ニ矢一而已トイヘルハ矢ヲ殘リ無ク  
 射盡シテ聞者一本トシモツトニシテフレニテモフナ  
 カツタト云コ、口ナリ世說黜免ニ殷中軍被廢在信安  
 終日恒書空作字揚州吏民尋義逐之竊視唯作咄々恠事  
 四字而已トイヘルモ其書空ノ字ガ咄々恠事四字ト云  
 フニモツテフレデモフナカツタト云フナリ  
 此モノミト云フニ用ユ本ハ爾汝ノ爾ナルガ爾汝ノ爾  
 ニテヤハリ爾字ハ其身フント云コ、口モチナル故古  
 書ニハ此爾ヲ其ノ字ノコ、口ニ用タルアリ齊語孟  
 子ニモアリ詳ナルハ虚字詳解ニ出シテ此ニ贅セス  
 廿テ此爾ヲノミト讀ム時モヤハリ其身分ト云フ心持

爾

アル字ナリサレバ論語曾點ガ鼓瑟希鐙爾舍瑟而對曰  
 トイヘル鐙爾モ他門人ノ孔子トノ問答ノ内モヤハリ  
 瑟ヲ鼓スルヲヤメズ時々一聲ツ、鳴ラシテ鐙爾  
 シテキコエタルトニテ其音ノヤフスノ其中ニコモリ  
 持タルトコロヲ言ントシテ爾トイヘルナリ其聲ノ出  
 テ來ルヤフスニテ言ヘバ鐙然ナリ司馬相如ガ難蜀老父  
 豈持委瑣握躡拘文牽俗循誦習傳當世求說云爾哉トイ  
 ヘル云爾ハカフイフタトオリノノギリナルトナラニ  
 ヤナリ論語ニ女奚不曰其為人也發憤忘食樂以忘憂不  
 知老之將至云爾トアルモカフ云フタトオリニイハサ  
 リシゴト云フナリ  
 古今集 獨ノミナガムルヨリハ女郎花我スム宿ニ植テ見  
 マシテ此獨ノミノノ三即爾ノ字ノ意ニマワルベシ身  
 ヒトリニテナガムルヲイワマデモツノトオリト云  
 フコ、口モチナル故ナリ  
 後拾遺 ホト、ギス我ハマタテツ心見ル思フ事ノミタガ

フ身ナレバ此思フ事ノミノミモ思フコトサヘ言ヘ  
 バイワマデモフコトオリニテ違フトイフコ、ロモチ  
 ナル故ニ爾ノ字ノ意モチナリ  
 又文ニヨリテ或ハ爾云ト書テ止メタルコモアリ此ハ  
 此トオリノコチヤト申コチヤト云コ、ロナリ世説假  
 譎ニ愍度道人江ヨリ南へ越シトセシ時ニ一ノ江北ノ  
 道人トハカリテ舊義ヲ用テハバヤルマシケレバトテ  
 無義ト云コラ立テント相談シテ愍度ノ三渡リテ右  
 ノ無義ヲ講ジテ年ヲ積ミシニ後ニ江北ヨリ一人來テ  
 江北ノ道人ノ語ヲ傳ヘシニ云ヘルハ無義ハ那トシ  
 テ立ベキゾ治此計權救飢爾無為遂負如來也ト云シハ  
 無義ヲ治セルハ當分ヲハカリテ飢ヲ救フコトニテ講タ  
 ルフリノコチヤトイヘルコ、ロモチナリ  
 此字モツテトヨム故ニ持ノ字ノコ、ロニマギレテ聞  
 ヲレドモ手ノワザニカ、ルコトハ格別ニテ聞人ノ心  
 ノ其物事ヲ思ヒテ其象ヲ想ヒ居レル其象ノ其外ノ物

以

ニムカヒ往ク先ノノキタル様子ナル処ニツケテ出シ  
 テスエタルコトニシモタスコトニシテ云フコ、ロモチナ  
 リ譬へバ鼠ヲツカムニ手ノゴヒヲ以テストイフハ手  
 ノ象ヲ立テ其手ノユク先ノノキタル処ニ手拭ヲ付  
 カセスエテサテソレニテツカムト云コナリ字ヲ書ク  
 朱ヲ以テストイハバ字ヲ書ク其事ノカ、ル先ニ朱  
 ト云モノヲ付カセスエテサテソレニテ書クコト云コ  
 ナリサレバ虚字ニ似タル使ヒカタノ時モヤハリ同ジ  
 コ、ロモチナリ  
 詩名南ニ之子歸不我以トイヘルハ之子ノ他ヘトツク  
 ニ其ガ適キタキ方ヘユクコトニシテ此方ノコトヲ其心ニ  
 引カケテ思フテタレ又ト云コナリ論語ニ視其所以ト  
 云タマヘルハ人ノ心ヲテニヨリ嗜好ノアル處ニヨリ  
 テ其心ノ動クトコロニトカク先ヅ其事ヲ引カケテ出  
 スモノナリ酒ヲ好ム人ハ何事ニ付ケテモコレニテ酒  
 ヲ飲ムベシト思ヒ喜ニモ哀ニモトカク酒ヲ云出スナ

リ。餅ヲ好ム人モ、同じキ三ナリ。口論ヲ好ム人ハ、何事  
 ラモ。口論スルヲニオトサントシ。訴訟ヲ好ム人ハ、何事  
 ラモ。訴訟ニスルヲニフレヲ引出サントスル類並ニ其  
 所以ト云フトコロノナリ。サテ助字ニ用ユルニ、以字  
 ヲ以テ上ヲ承ルアリ。以字ヲ以テ下ヲ引アゲスブルア  
 リ。イヅレニテモ、以字ノ上ハ、物ノフレニシテ用テユク  
 処ニシテ指ストニナリ。下ハ、物ニテモ事ニテモ、並ニ皆  
 名稱ヲ付ケテ言フモノ。若ハ事トナルニ心得ベシ。タト  
 ヘバ詩ノ召南ニ、于以采蘋南澗之濱。于以用之公侯之宮。  
 トイヘル以ハ、下ヨリ翻ル以ニテ、以采蘋以用之ナリ。于  
 字并南澗之濱、于公侯之宮ヲ、于字バカリヲ切ハナシ。引  
 アゲタルコ、ロモチニテコ、ニテ蘋ヲ采ルヲ以テ  
 セリト聞カバ、南澗之濱ニテノコトセシコ、ニテフレ  
 ヲ用ユルヲ以テセリト聞カバ、公侯之宮ニテノコト  
 セヨト云フヲナリ。論語ニ、為政以德ハ、政ヲスルニシテ  
 以テユク処ニ、名稱ニイフトコロノ徳ト云モノヲ先ニ

ツケテモツテユケバト云フナリ。又子對曰、言不可以若  
 是其幾也。ノ以字モ、下ヨリ翻ル以ニテ、言ノコトニシテモ  
 ワテユク処ニ、ケ操ナルカ、リナラバ、其ニコレガ幾カ  
 ラフト云フヲモツテユクコトニセラレ又ト云タマヘルナ  
 リ。莊子逍遙遊ニ、奚以之九萬里而南為。トイヘルハ、其之  
 本萬里而南ノ七字ヲ、其事ヲ人ヨリ斯イフ語ニシテ言  
 フコトニスルコトヲ、其飛ブワザノ処ニ引カケテスルコトニ  
 シテナセルコト云フコ、ロナリ。故ニ右ノ如クニ、以字  
 ヲ上ニ置キテ、其下ヲ其以字ニ引カケテ翻ストキハ、以  
 字ノ下、物ナレバ、カクマナリタル物ナリ。事ナレバ、斯云フ  
 語ニシテ言フコト云フ意トナリテ、名稱トスル所ノ事  
 トナル故ヤ。ハリカタマリタル物ト同じ意持ナリ。以字  
 ヲ下ニ置キテ、上ヲ轉接シテ承ルコトキハ、以ノ上、並ニ活  
 動トナル。易說卦傳ニ、雷以動之。風以散之。トイヘバ、雷ニ  
 シ風ニシト讀ムベシ。雷ヲナラスコトニシテ、以テフレヲ  
 動カシ、風ヲ吹カスコトニシテ、以テフレヲチラスコト云フ



コ、ロナリ。詩鄭風ニ。知子之來之。雜佩以贈之。トイヘル  
モ。雜佩ヲドレヲトリ取ス。トニシテ以テフレヲ贈  
ラントセヨト云コ、ロナリトカク以字ノ上ハワガノ  
カ、ルコ、ロアリト思フベシ。論語ニ。一以貫之。モ詩ヲ  
學フニモ。禮ヲ學フニモ。其何ナル文義ニ出合テモ。其ヲ  
忠恕ノ心ニ本ツケテ。フレヲ推シ知ル。トニシテ。以テフ  
レヲ慣フ。トニセルヤト云給ヘルナリ。一ノ字以ノ上ニ  
在ラサレバ。此モ右ノ如クワガノカ、ルコ、ロニサバ  
クベキヲ。後儒文理ニ昧キ故ニ。一以ヲ以。一ノ如クニ心  
得テ。忠恕ノ一物ヲ以テト思ヒタル故ニ。其昔自カラ夫  
子之道ヲ云。トハナレテ。曾子ノ其身ヲ行フ。トナリ  
貫ノ字モ。自カラ貫穿ノ義ト心得ル。トニナレリ。道ハ物  
ニ非ズシテ。活動スル所ニアルモノナレバ。貫又クベキ  
質ハ無キモノナリ。況ヤ前ニ言ヘル如ク。一以トアレバ  
コレモ人ノワガヲ以テ。衆物ノ別異ナルヲ一ツスチニ  
シテ往ク。トニスル。トナルナレバ。下ノ貫ノ字。自カラ

習貫ノ貫トナラザル。トヲ得ザル。トナルニ。前儒ハ誤解  
ヲ自カラ覺ヘズシテ。後ニハ此章ヲバ。一貫ノ傳習ナド  
ト言ナラフス。トニナレルハ。歎ズベキ。トナリ。史記燕秦  
傳ニ。莫如。一韓魏齊楚燕趙。以從親。以畔。秦トイヘル文ア  
リ。一以ノ一ハ。即此燕秦傳ノ一ノ字ノ意ト同ジト心得  
バシ。又此以字。上下ノ異ナルニハ。是以。以。是以。何以。以何ノ  
別アリ。此モ是以トイヘバ。是ノ字活動シテ。此ヤフニユ  
ク。トトシテ。フレヲ引カケテト云コ、ロナリ。李斯傳ニ。  
乃上書曰。古者天下散乱。莫能相一。是以諸侯並作。皆道古  
以害今。トイヘル如キノ是以ハ。莫能相一ト云フヤフス  
ニユキタルニシ取ツケ。フレヲ引カケテ。諸侯ガ道古。ト  
ニシ。フレニ引カケテ。今ヲ害スル。トセリト云。トナリ。  
以是トイヘバ。是ノ字ハ。其ヤフスヲ含メル物ヲ指シタ  
ルニテ。是ノ下ニ物ノ字ヲ略セルナリ。何以トイヘルモ。  
刺客傳ニ。雖往古烈士。何以加哉。トイヘルモ。何ノ事ノア  
ルト云出ス。トアルニシ。フレヲ引カケテ。此ヨリハ上手

ニナルト云ハレウブイト云ナリ以何トイヘバコレ  
 モ何字ノ下ニ物ノ字ヲ略セルコ、ロナリト心得ベシ  
 又以字ヲモヘラクト讀ムトコロアリ齊悼王世家ニ  
 齊王自以兒子年少不習兵革之事願舉國委大玉トイヘ  
 ル是ナリ然レヤハリ下ノ事ト云ヨリ翻シタル以ノ  
 字ナリ後世ノ文ニ用ユル以字大抵上ニ言ヘルニ同ジ  
 7ナリサレモ今ノ清ノ康熙年間文華殿經筵ノ學士王  
 士禎カ著セル香祖筆記ニ古人贈答或云以詩贈之以詩  
 寄之今則改詩以贈之詩以寄之矣此類未易更僕但取古  
 人集觀之雅俗自辨當以三隅反也ト云ヘリ王カ此文ニ  
 值其書法ノ古人ト相違セルヲ三ヲ舉ゲ言タルマデ  
 ニテ其相違セルハ其文理ノ辨別ニ暗キガ致セル故ナ  
 リト言フナケレバ讀者ノ意ニハ此ハ畢竟文法ノ古  
 雅ナルニ法トリ書タルト唯有味ニ書タルノ相違ノ三  
 ニテ全体ノ処サノニカハルヲ無キナリト思フナ  
 リカヤフノ心得ニテ不吟味ナル故ニ右等ノ相違ヲバ

用

タ、文字ノ上下ノ外面ノ一而已ナリト思ヒ古書ヲサ  
 バクニモ古人ノ真面目ヲ獲ルヲ得カヤキヲニナリ  
 ユクナリ今此ヲ辨ゼンニ總別カヤフノ語勢ノ以字ヲ  
 中間ニ夾ミタルハ詩ノ鄭風ニ知子之來之雜佩以贈之  
 ハ雜佩デモ其処ニ用ユルヲニシテ以テナリ陳風ニ墓  
 門有棘以斯之ハ芥デモ其処ニ用ユルヲニシテ以テ  
 ナリ夫也不良歌以訊之モ歌デモ其処ニ用ユルヲニシ  
 テ以テナリ論語ノ一以貫之ハ一ノ字虚ナル故今此類  
 ノ實物ヲ其処ヘハメ用ユル意トハ少々異ナルヲナリ  
 ト知ヘシ又以詩寄之ナド書クハ此上ノ文ニフンセ  
 フケ様クノヲ言ノベシニ詩ヲ以テシテフレヲ寄ス  
 ルト言フ意味ナル故ニ以詩ト書クヲナレバフレヲバ  
 詩以ト書キテモ同シ意味ニマハルヲト心得タルハ沙  
 汰ノカキリノ謬妄ナルヲナリト知ルベシ  
 此字漢ヨリ已前ノ文ニハ助辞ニモ書タルヲ問々アリ  
 全体ノ字義其物若ハ事ヲ我処ニスルヲバ此形ノ内

力之字解 卷之三

ノ物ニ深クトメルヲニシテサテツレヲ向フニ着ル  
ニシテスエユクト云コ、ロニテ譬ハ筆ノ本ヲ手ノ  
指ノ内ニトクト持テサテ其筆ノ先ヲ向フヘ着ケル  
ニナシスエユクトヲ云テ用筆ト云フ人ヲ用ユルト云  
モ先其ヲバ我ニツキテハナレ又物ニシテサテツレヲ  
使フヲニスルヲナリ助辞ニテハソレヲ持コミユキテ  
ト云フコ、ロニ心得ベシ詩大雅ニ王欲玉女是用大諫  
又猶之未遠是用大諫トイヘル並ニ此上文ガ下文ニ言  
ナラベタル辞ヲ持コミユキテ大ニ諫ムルニセヨト  
云コ、ロナリ又修爾車馬弓矢戎兵用戒戎作用邊蠻方  
ト云ルモ修スルヲニツレヲ持コミユキテ戎ノ作ルヲ  
戒シメソレヲ持コミユキテ蠻方ヲ邊サケヨト云フナ  
リ又質爾人民謹爾侯度用戒不虞トイヘル用ノ字モコ  
レニ同じ史記司馬相如傳ニ何為無用應哉トイヘルモ  
何トシテ楚王ノ辞ニ楚國ノ内ニハトコニヲ持コミテ返  
報ニシテ應エントスルモノナカリシ故ナリトセルブ

式

イト云コ、ロナリ李廣傳ニ用此其將兵數困辱トイヘ  
ルモ此シカタヲモツコト持コムヲニシタルニテ其兵  
ニ將タルニ數困辱セリト云フナリ游俠傳ニ魯人皆以  
儒教而朱家用俠聞トイヘルモソレヲ持コミテト云フ  
トナリ  
此字詩書ニ助辞ニ用ヒタルモ西漢ノ人ノ行文ニハ用  
タルヲナシ此字本ハ法式ノ式ニテソレヲバ此方ヨリ  
以テユクアテニ取ルヲニスルヲナリ詳ナルヲ虚字詳  
解ニ出ス助字ニ用ユルモヤハリアテニ取ルヲナリ詩  
小雅ニ不取昊天乱靡有定式月斯生俾民不寧トイヘル  
ハ大抵一月アテニ取リテ一乱ノ生スルヲ云ルナリ  
又家父作誦以究王訛式訛爾心以畜萬邦トイヘルハ此  
誦ヲアテニ取リテ其方ノ心ヲイレカエテソレニテ萬  
邦ヲ畜ハセシト思ヘリト云フヲナリ又匪飢匪渴德音  
來括雖無好友式燕且喜トイヘルハ好友無クトモ其德  
音ノ來括ヲアテニ取リテ燕シ且ツ喜ニト心ガケヨト

# 庸

云「ナリ」雖無「音」酒式飲、廢幾トイヘルモ同ジコ、ロモ  
 子ナリ、大雅ニ、式號、式呼、俾書作夜トイヘルハ、酒ニヒタ  
 リ酔テ、大聲ニテ號スルヲアテニ取リ、呼フヲアテ  
 ニトリテ、何事ヲモ打忘レ、晝ヲモ夜ニナラスニシト云  
 フ「ナリ」

此字元來其物ヲ我内ニ持ツニ此ニ所トシモツ「ニ」シ  
 往ク「ガ」定「リ」タルスワリニスルト云フ「ニ」元畧シ  
 テイ「ハ」常ニアル取アツカヒト云「ナリ」九、庸ト云モ  
 常ニ取リアツカフ常人ノ「ナリ」其詳ナル「虚」字詳解  
 ニ出ス、助字ニ用ユルトキハ、以字用ノ字トハ相違ニ元  
 下「リ」反「レ」テ翻スルニナリテ、其トリアツカヒニナラ  
 フヤト云コ、口モ「ナリ」史記晋世家ニ、從者皆國器、此  
 天、所置庸、可殺、系トイヘルモ、殺セバ殺サル、ト云ヤフ  
 ナル「ナリ」トリアツカヒニ往カフカト云「ナリ」莊子齊  
 物論ニ、雖然嘗試言之、庸詎知吾所謂知之非、不知邪トイ  
 ヘル庸詎知ハ、メツタニ知レルト云「ナリ」云ハル、取ア

# 於

ツカヒニ往ク「ナリ」ニナラフカト云「ナリ」人間世ニ、外合  
 而内不訾、其庸詎可卒トイヘルハ、外ハ一ヲ合ム「ニ」テ  
 モ、ソレ「ナリ」ニ内ハ萬變ニナル「ナリ」ナレバ、其ニメツタニ  
 可ナリト云ハル、ト云トリアツカヒニ往カト云「ナリ」  
 ナリ、漢已後ノ文ニハ、此字ヲ用タル「多」ク見ヘズ、  
 此ハ聞ク「心」ニモツタルヲ以テ、語ル人ガ段ヲハヅシ  
 テ指シ言フ処ニトメル「ナリ」ヲサセテ、ソレヲウケル「ナリ」  
 ノキタルヤフスナルニモ「ナリ」テカ、ラスコ、ロノ字ナ  
 リ、サテ此於、字于字ト近キ字ナル故ニ、古モ於于ヲ替テ  
 使ヒタル「ナリ」アリ、詩ニ、鴛鴦于飛トアルヲ、呂氏春秋ニ  
 ハ、有龍於飛ト書ル「モ」アル是ナリ、後世ノ文ニナリテ  
 ハ、於于ノ別、全ク混同ズル「ナリ」ニナリテ、古文ニハ於字ナ  
 ルヲ、于字ニ書キ替ヘテ、ヤハリ同ジ「ナリ」ト思ヘルヤ  
 フニナリタル「ナリ」ナリ、サレ「古」ハ於于ノ別、ハキト別レ  
 テアリシ「ナリ」ナル故ニ、於字于字ヲ代テハ書ヌ、又於アリ、詩  
 大雅ニ、文王在上、於昭于天トイヘル於字、コ、ニト讀ム

「ハ」于以采蘋ノ于字ト同ジケレヒ意味ハ大ニ相異ナ  
リ于以ノ解ハ上ノ之ノ下ニ釋セシ如ク于南澗之濱云  
上ヘ于字ヲ引アゲタルモノニテ此場処ノ所ニ居テト  
云フキミナリ此於字ハ文王ヲ上ニ在セリトスルニナ  
リタラバサフアル処ヘモツテ往テ天ノ方ノ「昭」ナ  
ル「ヲ」得ヘシト云氣味ナリ穆々文王於緝熙敬止トイ  
ヘル於字モヤハリ其文王ノ心内ノ処ヘモツテ往キテ  
見テハ緝熙敬止ニセリト云「ナリ」左傳宣十七年ニ郤獻  
子孫林父カ齊ニ使シテ其堂ヨリ還リシトキニ齊侯其  
妃妻ヲシテ陰ニ觀セシメタルニ郤ト孫カ跟ト眇ナル  
ヲ笑シ「婦」人笑於房ト書ケリ此ハ郤至等其婦人ノ笑  
聲ヲ聞テ何方ニアルソト見タレバ房ノ方ヘ持テ往テ  
彼中ナリトシタル所ヲモタセテ於房ト書ケルモノナ  
リ論語ニ興於詩立於禮ト云給ヘルハ今眼前ニ無クテ  
アチラニアル詩ヘモツテ往テソレニ興ル「ヲ」取リ禮  
ヘモツテ往テソレニ立「ヲ」取ルト云「ナリ」莊子逍遙

于

遊ニ是鳥也海運則將徙於南冥トイヘル於字ハ鵬ノ今  
居レルハ北冥ニテ北冥ノ海水ガ運動シテサハガバ徙  
ル「ヲ」南冥ト云処ヘモツテ往「ク」ニセ「ト」スト云キ  
ニナリ又覆杯水於坳堂之上トイヘルモ杯水ヲ覆スル  
「ヲ」坳ノアル堂ヘモツテ往キテスレバト云コ「口」ナ  
リ齊物論キ其以為異於穀音亦有辨糸トイヘルモ穀音  
ノ処ヘモツテ往キテ引アハシテ其異ヲイフコ「口」ニ  
テ於字ヲ用タルモノナリ養生主ニ而刀双若新彘於砠  
トイヘルモ研ニテ今トギタル方カラ出シテ來タルヤ  
フナリト云フコ「口」ナリ  
此字ハトカク地面ニ落シ付ケテ云コ「口」モチアル詩  
ノ于以采蘋モ「口」タト其処ニ居テフレヲ采ル「ヲ」言フ  
コ「口」ナル故ニ于ノ字ナリ之子于歸トイヘルモ見ル  
人ノ前ニアタリテ今此処ニ居テ其カ歸嫁ニアフト云  
「ナ」ラバト云コ「口」モチナリ春秋ノ書スルトコ「口」  
隱元年盟于萬鄭伯克段于鄆ノ類並ニ皆于字ヲ用タル

ハ魯ハ魯國ニテ地フ、キノ処ノ鄒縣ノ茂鄭ハ鄭ノ地  
ツ、キノ潁川ノ鄆ナル故ニ其地フ、キラツタヒテ記  
シ見スルコ、ロニテ于ノ字ナリ春秋ノ末マテノ書セ  
ル于字此ヲ以テ例知スベシ史記儒林傳ニ以秦焚其業  
積怨而發憤于陳王也トイヘルモコラヘクテ陳王ノ起  
兵ノ処ニテ憤ヲヤフクニ發シタルナリト云フナリ又  
後陵遲以至子始皇トイヘルモ始終ノツ、キラ心ニ持  
テ于トイヘルナリ司馬相如傳ニ宗室有土公卿大夫以  
下争于奢侈トイヘルモ奢侈ノ処ニ居スワリテ其処ニ  
テソレヲ争フヲ言タルナリ禮檀弓ニ魯莊公及宋人  
戰于乘丘縣貫父御ト國為右トイヘルハ乘丘ニテ戰シ  
トキト云コ、ロニテ于字ヲカケルナリサレ班固ガ  
漢書ニハ史記ニ於ノ字ヲ用タル処ヲバ大方易テ于字  
ニシタリ此ハ於子ノ別其差誠ニ毫釐ノ一ナル故ニ十  
ルベキタケハ己ガ文ニシテ書カエタルモノニテ於于  
混同スベキ故ニ右ノ如シト思フベカラズ劉須漢史記

ト漢書文字ノ不同ノ処ヲ書キアツメテ班馬異同ト云  
フ一書ヲ著ハセリ際スルニ班ハ己ガ意ニテ書キタリ  
ト云意味ヲ見セントテ於于二字ニカギラス文字ノ易  
ラルベキ処ニ皆書易ヘタルモノナリサテ右ノ於于ノア  
ルベキ処ニ省キテ書クベカラザル処アリ此モ其省法  
ヲ知ラサレバ置クベキ処モ知ラレマシキナリ此ハ意  
ヲ用テ詳ニ考知ラズハアルベカラズ此ニハ前ニモ略  
言ヘルトオリニ文ノ語勢ニ一段ノ折レト云フバ先  
ツ詳ニ辨ジ知リテ後ニ此差別始メテ分明ニナルヲ  
得ラルベシ總ジテ天地間萬物ノ動止ハ陰陽晝夜ノ道  
ニ漏ルハナキモノニテ晝ヨリ夜トナリテ其一日ノ  
事ガ一終スルガ即萬物動止ノ則ナリ右ノ則アルニヨ  
リテトカク兩トナリテ一成スルトニナル故ニ夜ヨ  
リ晝トナルモヤハリ右ノ兩ツツバニナル規則ヲ以テ  
一成トスサレバ幽ヨリ明ニ持チ合フトニテ一成スル  
モヤハリ右ノ規則ニヨリテノ一ナリ何ヲ以テ右ニテ

一成トスル晝ヨリ夜夜ヨリ復晝トナリテツヅクナ  
 レバ兩ツツヅクニテ仕切ル、一ハアルマシキ様ニモ知  
 ラザル人ハ思フベキガ左ニハアラズ天ノ運動ノ一ハ  
 終古息ザルモノナレバ、イカニモ右ノ如クニ断ル一ナ  
 クツ、ク一ナレ其ヲ差別シテ識ルモノハ人ノ心ナ  
 リ人ノ心ハ即チ天地ノ神氣ナレ其心ニ寓シタル神  
 氣ノ界量ハ人ノ其身ニ依リタル物ナル故ニ人ノ目カ  
 ノ及ブ処ダケヲ以テ界量ヲ立ツル一ニナル故ニ東方  
 ノ地際ヨリ西方ノ地際マテ其限トシテ其ニヨリテ  
 彼天ノ運行ノ晝夜ヲ計ル故ニ東西界ノ内ガ晝ニテア  
 リシガ復夜トナリト云フ一ニ思フ一ガアタリニナリ  
 テ自モラ右ノ二段クノ折レトナル一ナリサレバ右ヲ  
 ハ人事ニカケテ云ヘバ譬ハ兼テカク思居タルガ今斯  
 ナツタト云ガ即二段ノ折レナリ總テ何事モ皆右ノ二  
 段折レニテ物事ヲ形容シテ言フ一ガ人ノ言語ヲナス  
 トコロノ自然ノ常ノ道ニテ譬ハヒタルカツタガコレ

テ腹ガ満タ或ハセンド歩行タノテ草卧タト言テキカ  
 シタレバ合點シタナド云フ日用ノ常語何事モ二段折  
 レニテ通用セザレハナシ文章ノ語勢ハ即チ日用ノ言  
 語ヲ文字ニ書キウツシタルモノナル故ニヤハリ亦二  
 段折レヲ以テ物事ヲワケ言フヲ法トスル一ナリサレ  
 バ此二段折レヲ知ラズシテ物ヲ三段ニシテ言フトキ  
 ハ事ニギラハシク聞コエカヌル一トナルタトヘバ兼  
 テカクナルヲ願居タルガ今トウグ斯ナツタ成就シタ  
 ト云ヘハ今斯ナツタト云ト成就シタト云ガ重復ノ贅  
 言トナリ却テ紛ラハシキ一ニナリテ聞ヘガタキトナ  
 ル其他皆コレヲ以テ準知ルベシ於若于字ヲ用ユルハ  
 右ノ二段ノ折レノ処ニアタルナリ史記梁孝王世家ニ  
 茅蘭説王使乘布車從兩騎入匿於長公主園トアルハ其  
 園ヲ心アテニシテ身ヲ以テ其園ヘカクシタト云氣味  
 ニテ於ノ字ヲ用ユ即チ二段ノ折レトナレリ又公孫龍  
 羊勝匿王後宮使者責二千石急トアリテ於字ヲ省キタ

ルハ匿王後宮ト云フニナリシニ使者ハ二千石ノ役人  
 ニソレヲ是非ニ捕ヘテ出セヨト責ルヲ急ナリト云フ  
 ニ元後宮ト使者トノ間ガニツ折レトナル故ニ於字ヲ  
 省ケルナリ孫子傳ニ乃斫大樹白而書之曰麗涓死于此  
 樹之下ト書ケルハ段々ニ道ヲツタヒテ追カケテ來ル  
 麗涓ナル故ニ此樹之下マデ來リテコ、ニテ死セント  
 云コ、ロニ元于字ヲ置タルナリ淮南王傳ニ又佯聚土  
 樹表其上曰関章死埋此下ト書テ埋此ノ間ニ于ノ字ヲ  
 省キタルハ理メルハ此下ト云フニ元埋ノタルヲ  
 此下ニセリト云フ其ワガマデモ持テ言ニハ及ハ又故  
 ニ省キタルモノナリ遺錯傳ニ太常遺錯受尚書伏生所  
 ト云ヘルニ于於ノ字ナキハ此文ニ伏生ガ書ニ通シ  
 タルヲ書テ右ニヨリテ太常ノ錯ヲ遺ルヲナレハ伏  
 生所ハ誠ニ目ヅルシマデニ置キタル補填ナル故ニ省  
 キタルモノナリ補填ハヤハリ一段ノ内ニテ二段トハ  
 ナラヌナリ梁孝王傳ニ出則同車游獵射禽獸上林中

子

ト云ルモ射禽獸上林中ト云ヤフナルヲナセリト一  
 直ニツバケテ稱シ言フ語ニナルヲニシテ書ケルコ、  
 ロナル故ニ於字ヲ省ケルナリ莊子逍遙遊ニ惠子謂莊  
 子曰魏王貽我大瓠之種トイヘルニハ惠子莊子サシム  
 カヒバカリナル故ニ於字ヲ書クニ及バガナルナリ肩吾  
 問於連叔曰ト云ニハ於字ヲ用ヒタリ此ハ下ニ吾問言  
 於接輿ト云ト同ジキニテ其相手ヲエラミテ問フコ  
 コロアル故ニ於字ヲ置ケルナリ齊物論ニ齧缺問乎王  
 倪ニハ子字用タリ此乎字ハ上ニ己ニ辨ジタレ也又此  
 於于ニ似タル使ヒ方アル故ニ此ニ更ニコレヲ附辨ス  
 他書ノ省法モ並ニ此數例ニテ例知スベシ  
 史記司馬相如傳難蜀父老ニ休烈顯乎無窮聲稱決乎于  
 茲ト書ケルニテ觀ルベシ乎ハ于字ノ意ニテ用タルニ  
 ハ非ズシテ魏々乎蕩々乎ノ乎ノ字ト同ジトニテ乎字  
 上ノ文字ノ趣ヲ姿ニ立テ言タルモノナリ決乎ハ決キ  
 ヤフニナリテアルト云フナリ前ニ言ヘル莊子ノ問乎



王倪モ此下ニ兩方ノ問答ニ其問ヲキテ答ヘ答ヘニ付キテハ又問幾遍モアリテ其兩方ノ思慮ヲ加ヘテ言タル趣ヲ寫スアルニヨリテ乎字ヲ用タルモノナリ孟子ニ或問乎曾西ト書ケルモ下ニ推シカエシタル問答并ニ曾西踧然又ハ怫然不悅ナドノ事アル故ニ乎字ヲ以テ書ケルモノナリ問ニ居タルニトヨムコ、ロニ見ルベシ又此乎字問字ニモアラズ歎辭ニモ非ザル処ニ使タルアリ左傳隱十一年ニ君子謂鄭莊公於是乎有禮トイヘル乎ノ字ハ於是ト云フコ、ロナリ楚語ニ日月會于龍苑土氣含和天明昌作百嘉備舍羣神頌行國於是乎烝嘗家於是乎嘗祀トイヘルモ同ジコ、ロニテ其事ノアル処ヲ立テスエオキテソレヲ目アテニ取ルニシテ言フコ、ロニテ乎ノ字ヲ添タルモノナリ本邦ノ語ニソヲ濁リテヅト云モヤハリ其物若ハ其事ヲ向フニ立テ置キテヤハリソレニ意ヲソワシ往カストニシテ言フ辭ナリ檀弓ニ柳若謂子思曰子聖人之後

則

也四方於子乎觀禮子盍慎諸トイヘル乎ノ字モヤハリゾトヨムコ、ロモ子ナリ詩秦風ニ於我乎夏屋渠々トイヘル乎ノ字モ我ニセウヅナレバ夏屋ノ渠々タルヲ以テスベキニト云フナリ此字本法则ノ則ナリ法則ノ則ヲ知ラントナラバ先ズ良則ノ則ヲ知ルベシ良則ハ法馬ノトニテ則子トモ稱ス此ニ稱スル分銅ノトナリ分銅ニ五百目又ハ三百目ナト云極マリタル重ミヲモチアルヲ天秤ノ皿ノ一方ニ懸ケ置キテサテ物ヲ一方ノ皿ニ載セテカケ合セテ其ツリ合フト目アテニシ物下ガレバ減ジ上レバ足シテソノ法馬ト平ニツリ合フ処マデニシテ物ノ重輕ヲソレニテ定ムル器ノ名トセルトナリサレバ法則モ右ノ義ニ同ジク其法トスベキヲ向フニ立テ置キテ我行事ノ過不及ヲソレニ見合セテ或ハ裁節或ハ補足スルノ見合セニスル物ニスルヲ則ト云詩大雅ニ天生烝民有物有則ト云ルハ下ニ民之秉彝好是懿德トイヘルハ

即子有物ナリ。生仲山甫トイヘルハ。即子有則ニテ。仲山甫ヲ德物ヲ成立スル夕メノ手本ノ夕メニ。天ヨリ仲山甫降生セサシタリト云フナリ。次章ニ。仲山甫之德柔嘉維則トイヘルモ。仲山甫モ亦柔嘉ニシテ。民ノ則トナルヤフニ。其身ヲ行ヘリト云フナリ。左傳僖廿七年ニ。詩書義之府。禮樂德之則トイヘルモ。聖人禮樂ヲ制シテ。其儀節ト文義ニ。德ヲ成立スベキノ則ヲ寓シテ。民ノ則トスト云フニテ。左傳昭六年ニ。聖作則トイヘルモ。異意ハ此ニ本ヅキテ云ル辞ナリ。後世ニテモ。著書ノ前ニ列子タル凡例ノ一條クテ。或ハ稱シテ則トシテ。凡例ナリ。則ニナド云フモ。本書ヲヨミユク人ガ。其著書ノ本意ヲ知リテ。不審ニ思フトキノ見合セト云コ、ロニテ。則ト云ナリ。其他規則憲則ナドイヘルモ。並ニ右ニ準ジ知ルベシ。サテ助辞ニ此則字ヲ用ユルモ。ヤハリ右ノコ、ロモチニテ。此方ニコレヲ持ツトニシテハ。其向フニハツレテアタルハ。此ニナルト云コ、ロナル処ノツナギニハ

必ス此則ノ字ヲ用ユルナリ。詩邶風ニ深則厲。淺則揭トイヘルモ。其涉ルトコロノ水ヲハ深シトシテ持ツトニシテハ。其向フニハツレテアタルハ。屬ニシテ往クニセフトセヨ。淺シトシテ持ツトニシテハ。其向フニハツレテアタルハ。掲ニシテ往クニセフトトヒヨト云フナリ。大雅ニ。維此王季。因心則友。則友其兄。則篤其慶。載錫之光。受祿無喪。奄有四方。トイヘルモ。上帝ヨリ王季ヲ目利アリタルカ。王季ハ其心入レニ付ケテユクトニシテハ人一友スルトガ出來ルト見ユル。フレナラバ。其兄ニ友スルトニユカフ。其慶ヲ篤フスルトニユカフ。スレニ光ヲ錫ヒテモ。其祿ヲ受ケテモ喪フトナクシテ。奄ニ四方ヲ有ツトガ出來ルトカアラフト思ヒ給ヘリト云フナリ。左隱十一年ニ。凡諸侯有命。告則書。不然則否トイヘルモ。コチラニテソレヲ謂フニ。告ルト云名稱ノアルトス。其向フノハツレル処ニモツニハ。不告ト云名稱ノアルトス。ツノ向フノハツレル処ニモツニハト云コ、ロナルレ

バ畧シテコレニシテモツニソレガ往ケバト云フテモ  
 通ズベシ魯語ニ若欲犯法則苟而賦又何訪焉トアルモ  
 欲犯法ト云フニソレガ往クナレバト云フナリ  
 又且天君子計成而後行ニ三子計系有禦楚之術而有守  
 國之備乎則可也トイヘルモヤハリソレデアラフナレ  
 バ可也ト云フナリ但シ此乎則ノ二字ヲ連接シテ用  
 クルト左國ニ往々見ユ乎ハ一通リノコレニテアルカ  
 ナリ則字ト連接シテ乎字ニ自カラグナラバト云フ語  
 勢ノヒビキ出ルト知ルベシ莊子齊物論ニ冷風則小和  
 飄風則大和トイヘルモ冷風ナレハ飄風ナレハナリサ  
 レバ此則字ハ物ノユキカタニツケテ人其取リ合ヒ語  
 ル意味ナル故ニ記事ノ文中ニハ先ヅハ用ルト寡ナリ  
 サレト語ル人又ハ記者ヨリ其処ノ勢ヲ引取リテ取合  
 セラ付ケテ言フニハ用ユルトアリ史記刺客傳使使往  
 之主人荆卿則己駕而去掄次矣ト書ケル又吳王濞傳二  
 會考惠高后時天下初定郡國諸侯各務自附循其民吳有

豫章郡銅山漢則招致天下亡命者益鑄錢煮海水為鹽ト  
 云ル是ナリ並ニ皆此方ノ内ノ事ヲ言フタル処ニ云俄  
 ニハナレ元向ノ内ツラノトニカハリテ云フニ則字ヲ  
 用タルナリ又詩齊風ニ匪鷄則鳴蒼蠅之聲トイヘルハ  
 鷄ノコトヲ云ナレハソレハ鳴タリト云ニ非スハト云  
 フトニ元鷄ハ鳴ナレバ今少シハ寢テ居給ヘト云意ヲ  
 陰ニ含ニテ則ノ字ヲ用タルナリ匪東方則明トイヘル  
 モ同シトナリ又隔字隔句ノ則法アリ詩周南ニ王室如  
 燬雖則如燬父母孔邇トイヘルハ隔句ノ法ニ元則字ノ  
 上ニ其所相ト云フ如キヲ畧拆シテ隔テタルモノニ元  
 其恰好ヲ看ルトキハ焚ツク如キ威勢ニ見ユレト云  
 一ナリ上ニ引タル荆卿則ノ則モ隔字ノ則ナリ左桓六  
 年ニ季梁が祝史矯舉以祭臣不知其可也ト云タルニ公  
 曰吾牲牷肥腍粢盛豐備何則不信トイヘルモ隔字ナリ  
 何ニテ汝が言フトコロニハ則不信トセルト云コハ口  
 ナリ史記鄒陽傳ニハ隔句ノ則アリ史記助字法ニ出セ

乃

ル故ニ。此ニ贅セス。要スルニ。隔字隔句。畢竟其長短ノ相  
 異マデニテ。暫ク上文ニ言タル筋ヲ。向フノ内ヘ一飛ト  
 バセテ。サテ又ソレヲ上文ニ言タル筋ヘ引付テツ、ケ  
 言フニハ。並ニ此。隔字隔句法トナルナリ。  
 此字ハ今ノ言出ス語ヲ。聞人ノ心ニ。其外ヲハナレテ。内  
 ニ持ツタルヲ出シテ。ソレヘトメルコトニシ。スワリヲ付  
 カス。コトニシテ言フ意ニ用ユ。詩大雅ニ。乃名司空。乃台司  
 徒。俾立室家。トイヘルハ。此。前章ニ。庶民ノ周ク為ニ事ヲ  
 執リテ。役使スベキニナリタルヲ言テ。サテ此。兩ノ乃ノ  
 字ニテ。司空司徒ヲ召ス。コトヲ言ヘルニ。天下地カ出來テ  
 サテカノト云フコト。ロモ千ナリ。挂子道遙遊ニ。故九萬  
 里。則風斯在下矣。而後乃今培風。背負青天而莫之天闕者。  
 而後乃今將圖南。トイヘルハ。鵬ノ已ニ空中九萬里ノ上  
 ニ往テ。風ノ下ニアル象ヲ立テ。フウアリテ後ニハ。聞ク  
 人モ思ヒアタルコトニテ。コトノ今風ヲ培シ。背ハ青天ヲ負  
 テ。ソレヲサエギルコト出テ來ラズ。フウアリテ後。聞人モ

思ヒアタルコトニテ。コトノ今南ヘユカニトセシトセシニ  
 ト云フナリ。左桓八年ニ。季梁曰。楚人上左君。必左無與王  
 遇。且攻其右。右無良馬。必敗。偏敗衆乃構矣。トイヘルモ。偏  
 敗スレバ。左方ノ衆ト雖ドモ。心々ニナリ。離攜スルコトハ。  
 人ノ心アタリニモ。フコヲ知ルヘキコト故ニ。其心モチヲ  
 其処ヘ引ツケテ。乃構トイヘルナリ。晉語ニ。魯襄公楚ニ  
 ユクニ。康王卒スト聞テ。還ルベキヤ。往クベキヤ。議シ  
 タリシニ。叔仲昭伯楚ニ往クベキノ義ヲ論シ。不如往也  
 ト云タル下文ニ。乃遂行トイヘルモ。此段ノ言ヲ聞ク人  
 モ。叔仲が言ヲ尤ナリト思ヒアタル心ヲ。コトニ引合セ  
 テ。乃遂行ト書タルモノナリ。世説言語ニ。支公好鶴。翅長  
 欲飛。支意惜之。乃斂其翮。トイヘルモ。其勢が自カラ左様  
 ニアルベキヲ。コトニ引合セテ。乃斂ト云タルナリ。鶴軒  
 翥。不復能飛。乃反顧。翅垂頭視之。如有懊喪意。トイヘルモ。  
 鶴ノ心持ニ左モアルベキヲ引合セテ。乃ト云ルナリ。又  
 桓靈室が殷仲堪ヲ征セシト云。道廬山ニ出テ。遠公ニ詣

### 迺

リシニ遠公ノ語ニ願檀越安爲使彼亦無他ト言タルニ  
 桓出語左右曰實乃生所未見トイハル乃字ハ遠公ガ如  
 キ人ハ桓ガ生來ノイマダ見ザルトコロノ人物ナリト  
 云トテ思アタラセントテ乃トイヘルナリ。晋ノ比ニイ  
 タリテハ右ノ如ク乃字ノ使口友古ニクラベテハ至テ  
 輕ハヅミナルヤフニナリタルトナリ。又史記ニ鄒食其  
 カ六國ノ後ヲ立ニテヲハカリシ又張子房其議ノ害ア  
 ルヲ言タリシニ沛公曰幾敗乃公事ト云ルハ今モツツ  
 トニテ我事ヲ敗ントセリト云トナレド我トイフベキ  
 ヲ乃公トイヘルハカノ且那ノ事ヲシクジラセントシ  
 タリト云キニテ鄒生ガ議ヲ聽テ其通ニ我身ヨリ取  
 アツカハントセラレシ故ニ右ノ如クニ乃公ト稱セル  
 ニテ鄒生ガ意持ヨリ指セタルコ、ロモチナリ  
 後世ニテハ乃字ト同ジクニ用ユ。史記ノ乃字漢書ニハ  
 多ク迺字ニ易一用タリ。然レ詩大雅ニハ一篇ノ中ニ迺  
 ト乃トシ並ベテ異ニセリ。迺慰迺止。迺在迺右ノ次章ニ

### 載

乃召司空トアル。即是ナリ。古文ニハ同音ノ字ニテモ字  
 形異ナレバ使用ノ勢モ自カラ少シ異ナルトナスモ  
 ノアリ。與ト予ト同音ナレド與ハ其ヲ向フノ手ヘワタ  
 スコ、ロアリ。予ハソレガ物ニシテアタユルキミトナ  
 ルガ如シ。此迺乃モ右ニ同ジク。迺ハソレガ出來テサテ  
 其処ニシテト云フキミナリ。乃ハソレモツクニシテ  
 廿テト云フ氣味ナリ。大雅公劉ニ匪居匪康。迺場。迺疆。又  
 云。既順迺宣。又云。迺旻。南岡。乃覲于京。ト並ニ右ノ差別  
 ヲ以テ推シ知ルベシ。  
 此字詩ニ多ク見ユヤハリ乘載ノ載ノコ、ロナリ。サレ  
 ド天覆地載ト云フアルニヨリテ。此載字ヲバ或ハ物ヲ  
 其上ノセウケテ。荷ニシテモツクニオモフベキヤフナ  
 レド。左様ニ意持アル字ニアラズ。但其形容バカリニテ  
 言フ意ナリ。易坤卦ニ載物無疆トイヘルモ。其下地ノア  
 ル上ニ承ケテカサナラヌコトイヘルナリ。サレ故ニ詩  
 小雅ニ雨雪載塗ト云ル語アリ。途路ノ上面ニ雪ヲ一面

即

ニウケノセモツコニシタルコヲ云ルナリサレバ助字  
 ニ用ユルニモヤハリ其下地ノアル上ヘノセカケ持ツ  
 コニシテ思ハセルニ用ユ其義ノ尤知リ易キハ詩小雅  
 ニ題彼鶴鳴載飛載鳴トイヘル句アリ飛ノ上ニ鳴コト  
 モツコヲイヘルナリ故ニ東方朔客難ニ此ヲ釋コト  
 鶴鳴不為其鳴輟其飛ト云ヘリ邛風ニ出宿于干飲餞于  
 言載脂載牽遼車言邁トイヘルモ其ウエニモツテト云  
 コ、口ナリ又現眺黃鳥載好其音トイヘルモ現眺ヲ前  
 儒聲トセルハ誤ニテチラリト見ユルヲ云チラリト見  
 ユル黃鳥ニモツレニ其音ヲ好ニスル鳥ナリト人ハ見  
 テ取ルコナリト云コナリ載ハイヅレニモツレニト云  
 フコ、ロニテ載字ノ下ノ事ヲ其ウエヘノセカケテモ  
 ツコ、ロナリ詩中他ノ載ノ字イヅレモコレニ準ジ知  
 ルベシ

此字本即就ノ即ナリ右フノ内ニモチタルコエ此方ノ  
 クレヲノキテモチタル内ノ処ヘツレヲ其間ノシキリ

ヲ飛シテカ、ルコニシタルニシ言フ義ナリ太子ノ即  
 位ト稱スルハ太子ノ位ニアリタルヲ此方ノ天子ノ位  
 ノ内ノ処ヘツレヲ飛シテカ、ルコニシタルコニシ稱  
 スルナリ漢ノ王莽ガ初ハ政ヲ攝シ後ニハ其位ヲリ  
 テ居タレ居後ニハ遂ニ天子ノ位ニツキタリシヲ即真  
 ト書タリ初ハ假ナルガ後ニハ真ナルニ飛シテツク  
 ニシタリト云コ、ロモチナリ其他ノ即ノ字モトカク  
 今マデ居リタル処ト僅ニ一マダケナルニ飛コシテツ  
 キタルハ即ナリ詩大雅ニ止旅廼密芮鞠之即トイヘル  
 ハ砥石ノ出ル澗ハムサト人ヲ入ラセスシテ入ハム  
 モノアレバ直ニ吟味ノ人ヲソニカ、ラスト言フ  
 ニテ即ノ字ヲ用タルナリ其間ノ少々ハタ、リタルハ  
 就ノ字ヲ以テ稱スルコナリサテ助字ニ用ユル即字ハ  
 其即字ノ上ニ言タルガ其処ニテ即字ノ下ニ言タル処  
 ハ飛コシテツクコニシタリト云コナリ秦漢已後ノ文  
 ニ多シ史記陳平世家ニ大王一日得楚之亡卒未知其高

下而即與同載トイヘルハ一日ソレヲ得タルトコロニ  
テ直ニ飛シテソレト車ニ載スルヲ同ジクスル処ニ  
飛スルニシタリト云フナリコレモ右ノ飛シスエタル  
即ノ字ノ下ニ言フ処ガ聞人ノ此已後ノ目當ニシテ段  
ニ取ル処ノアタリトナルコトナリ下皆コレニナラ  
フベシ留侯世家ニ留侯性多病即道引不食穀トイヘル  
ハ初ノハ穀食ヲシタリシダ高祖ノ崩セラレタル処ニ  
テ道引不食穀ノ処へ飛シテワクニシタリト云フナ  
リ世説雅量ニ王東亭為桓宣武主簿初見謝失儀而神色  
自若坐上賓客即相貶笑トイヘルハ目三エトキニ拜  
禮ノ儀節ヲ失シニ坐上ノ賓客ハ其失儀ノ処へ飛シツ  
クニシテ貶譏シ笑タリト云フナリ黜免ニ及孝標類  
苑成帝即命諸學士撰華林編略以高之トイヘルハ其処  
へ飛シテツクニシテト云フニテ此ハ梁武帝劉孝標  
ヲ忌ミテツレヲ抑ヘンクトシ居レリシガ類苑成就シ  
タルニハカノ忌抑フル心ニヨリテ此書ノ成リタル処

ニ飛コシテツクニシテ諸學士ニツレヲ抑フル華林  
編略ヲ撰セシメタリト云フナリイヅレニモ即字  
ハ其ノノ機談ヲ又カサズシテ其処ニツレニシテカ  
リツキタルヲ語ル字ナリサレハ漢ノ文ニハ其持コミ  
ノ本ヲ云フ意フカク後世世説ノ文ナドニナリテハ其  
持コミノ本アサクシテ輕ルハツミナル相違アリ又難  
波ノアシハ伊勢ノ濱ヲギナリナド云ニ必ス即ノ字ヲ  
用ユルニテタトヘバ苜蓿即今民間所稱猪蓮是也ナ  
ド用ユルヲアリ畢竟イヅレモ即字ノ下ハ斯イフ名稱  
ノ下ニナリタリト云フテ其処ニ意得ヲスエテ思ハス  
ルキミナリト心得ヘシサテ佛經ノ般若心經ト云モノ  
ニ色即是空空即是色ナドイヘルハ右ノ心經ハ全体觀  
自在菩薩行ト稱シタルヲナレバ此色即是空ナドモ皆  
理ヲ判シテ言ヘルニ非ズシテ觀念ノシカタノ下ニテ  
空ナルヲ見テハ其処ニツキテハ是色トコトヲ其処  
ニスエテ觀ビヨナド云フナルヲ後世ノ浮屠氏ノ諸注

# 輒

コレヲ知ラスシテ。觀ノ<sub>一</sub>ヲワスレテ。理ノ判ヲ以テ注シタル<sub>一</sub>多キヨシナリ。畢竟ハ文理ニクヲキ故ノ誤ナルヘシ。

此字ハ此方ノ事ヲ其ガ内ニモツニ其ガソレヲツクルニハ。其事ニナリ出テ來ルト云フキニテ。畧シテイヘバ。輒ノ字ノ上ニハイツニテモ毎ノ字ヲ畧シタルコ、ロモチニテソレゴトニソレガソレニナルト云<sub>一</sub>ニ心得レバ。十ガ九ツハアタルナリ。史記封禪書ニ及到三神山反居水下臨之風輒引去ト云ルモ。舟ガ其神山ノ下方ニ見ユル波面ノ上ノ方ニノズミカ、レハ其度ゴトニ。風カ其舟ヲ吹キテヒキノケルト云<sub>一</sub>ナリ。世説言語ニ。劉尹云。清風朗月輒思玄度トイヘルハ。清風明月ニ出會タヒゴトニ許玄度ヲ思フト云<sub>一</sub>ナリ。謝太傅語。王右軍曰。中年傷於哀樂與親友別輒作數日惡トイヘルモ。別ル。夕ヒゴトニナリ。陸太尉請王丞相咨事過後輒繚異トイヘルモ。相談シタル<sub>一</sub>ガ後ニハ談シタル事ゴトニ。

# 便

ソレトハ打カエテ。別ナル<sub>一</sub>ニ取アツカヒタリト云<sub>一</sub>ナリ。サレバイツレモ。此輒ノ<sub>一</sub>字ニテ。數度ノ事ヲ含ミテ見ル<sub>一</sub>ニスル<sub>一</sub>ナリ。サレトモ又少シ異ナル使方ナル所モアリ。史記高君傳ニ。復曰。能徙者予五十金。有一人徙之。輒予五十金。以明不欺トイヘルハ。其木ヲ立テ置キテソレヲ一人アリテ徙シタルニ。五十金ヲ其一人ノミニ予ヘシヲ。輒ト書ケルハ。畢竟高君ガ詔令ノ通りニセシモノヘハ。イツレモ此ノ如シト云フカタヲ。此徙木ニテ見スル意ナル故ニ。一事ノ内ニ他時ノ<sub>一</sub>ヲモ含ミ見セテ。予フル意ヲ見セテ。輒ト書ケルモノナリ。

此字本ハ簡便便利ノ便ナリ。此方ノ内ニテ。向フノ内ニノキタル<sub>一</sub>ニスル<sub>一</sub>ヲ。此方ノ形ノトマルニモツ<sub>一</sub>ニシ。合セナスト云フコ、ロニテ。草鞋ヲ買タル処ニテ。直ニ其処ニテ茶ヲ飲ミ。烟ヲ喫シ。腰ヲカケテ休ム<sub>一</sub>ヲ。スル様ナル<sub>一</sub>ニテ。別ニソレヘユキテスルニ及バズ直ニ此処ニテソレヲナシテスマス<sub>一</sub>ニスルコ、ロナリ。史



記項羽本紀ニ少年欲立嬰便為王トイヘルモ二度手問  
ラセズニ直ニ王トセント欲シタルトナリ東越傳ニ揚  
僕使使上書願便引兵擊東越トイヘルモ閩越ヨリ京師  
ヘ一旦カヘリテ復閩ノアタリマデ出テ來ルトノ二度  
手問ナルヲセズニ閩ヨリ直ニ東越ヘ向ヒタシト請  
タルトナリ此モ後世ノ文ニハ其意ヲ淺クシテ用ユル  
トナリタリ世說雅量ニ掌車遺閩後鹿車給之休昭有  
難載之色文偉便從前先上トイヘルハ董休昭ハ擬議シ  
タル間ニ費文偉ハハヤ其車ノ前ノ方ヨリ先ツ上レリ  
ト云トナリ假譎ニ魏武帝云我眠中不可妄近近便斫入  
亦不自覺トイヘルモ近ツケハハヤ人ヲキリ付ケルト  
云トナリ錢鳳入屏人論事都忘右軍在帳中便言逆節之  
謀トイヘルモ打ワスレテハヤ謀反ヲハカルトナリ言  
タル云トナリ便ノ字後世ニテハトカク兼忽ニハヤト  
云フ氣味ニ用タルヤフニアレモ全体後々ノ段ニテア  
ルベキヲバ此處ヘ直ニ引ツケタルキミナリト心得ヘ

又

シ宋詩ニ尋常一様窓前月絶有梅花便不同トイヘルモ  
尋常ト相替ラ又窓ノ前ノ月影ナレモ梅ノ花ガ有ルト  
スルカ纒ニモアレバソレダケカハヤ尋常ト同ジカ  
シ又様ニ見ユルト云トナリ  
此字下地ニ物ヲ其所ニシタルニ此度別ニソレヲノキ  
テ其処ニトメルヤフニスユルト云フニ又ト云詩小  
雅ニ賓載手仇室人入又トイヘルハ賓ノ為ニ樽酒ヲ汲  
ムニ酒ヲ多ク盛り過ギテ飲ニ堪ザラントヲ恐レテ賓  
ガ坐ヲ立テソレヲトメニ往ケルホドナルニ家内ノ妻  
女ナドガ其席中ニ入り來テソレニマタ酒ヲスハノ  
トスト云トナリ三爵不識矧敢多又トイヘルモ三爵ノ  
酒ニスラ醉テ前後ヲ識ラザルニソレサエアルニソレ  
ニモカマハズ多クソレニマタ飲ントスベキヤト云ト  
ニテ又字ノ下皆飲トカ勸トカ云フ字ヲハ略析シタル  
モノナリ左傳隱元年ニ太叔又叔貳以爲己邑トイヘル  
ハ此上ニ太叔命西鄙北鄙貳於己トイヘルヲ承ケタル

又ノ字ニテ、貳ヲ命ジタルサエアルニ、ソレニ又其貳ニナリタルヲトリコミテ、已ガ邑トセリト云フナリ。十一年ニ、既無德政又無威刑是以及邪トイヘルモ、德政ナシト云フハ、既ニテチガツキアルニ、ソレニマタ威刑モナシト云フナリ。周語ニ、獮於既烝狩於畢時是皆習民數者也。又何料焉トイヘルモ、此等ノ事ニテ、民ノ數ノ案内ヲ覺エ知ルノ設アルニ、ソレニ又何ニ料ルヲセシトスルト云フナリ。莊子德充符ニ、無聚祿以望人之腹、又以惡駭天下トイヘルモ、聚祿ノ人ノ腹ヲシテ望シムルヲ以テスルノモノナク、ソレニマタ醜惡ヲ以テ天下ヲオトロカセリト云フナリ。トカタ又字ハ、前ノ一ツニテ物事ノ増、見ヘルニ、ソレニマタ後ノ一ツヲ添ルヲ語ルニ用ユル意ナリト心得ヘシト。

此字反覆ノ聲ニテ、入聲ニ用フル復ト同ジカラス。公聲ノ字ニテ、物ノ一旦ノキテスニタルヲ、此復其已前ノヤフスヲモツトス、其内ニシ合セナシ云フニ、此復ノ

# 復

字ヲ用ユルヲナリ。論語ニ、閔子騫ガ有復我者トイヘルハ、一度其使命ヲ受ケズシテ反シタルニ、初ノ通リヲモツテ來ル使命アラバ、我ハ去リテ必在汶之上矣ト云ヘルナリ。孟子公孫丑ニ、孟子ノ齊ヲ去ルニ、晝ニ宿セシトキ、客王ノ女メニソレヲ留メントシテ、坐シテ言ヘルニ、孟子不應、隱几而卧、客不悅、曰、弟子齊宿而後敢言、夫子卧而不聽、請勿復敢見矣トイヘルハ、左様ナルアシラヒニテハ、此後ハ再ヒ御目ニカ、ルマジト云フナルガ、此度ノ相對スル通リノヤウスヲモツテ、其内ニ合セナストテ、敢テ見ユルヲヤメント云タルナリ。莊子達生ニ、紀渚子為王養鬪鷄、十日而問、鷄已乎、曰、未也、方虚憍而恃氣、十日又問、曰、未也、猶應響景トイヘル又ノ字、復字ニ似タル處ナリ。サレバ此ハ、下地紀渚子ガ答アリタレバ、ソレニテヤムベキニ、ソレニ又問タルニテ、已前ノ通リニト云意モチハ無キハ、ツナリ。世說仇隙ニ、謝玄暉江祐ヲアナドリテ、詩アリトテ呼、左右取既而復傳トイ

ヘルハ、左右ヲ呼テ取リニヤリタルガ、呼サルサキノ通  
リニモドリテトメタルコ、ロニテ復停トイヘルナリ  
識鑒ニ、姜伯約夏侯仲權ニ問フ、司馬公既得彼政、還復有  
征伐之志不トイヘルモ、立モドリ己前ノ通リニモドリ  
テ、征伐ノ志アリヤイナヤト云フナリ、小使ノ臨終ノ表  
ニテ、桓温ヲ用テ西征セシメントセシニ、劉尹曰、使伊去  
必能克定、西楚然恐不可復制トイヘルハ、桓温ハスグレ  
タルモノナレバ、西征セシメバ、克定ハスベケレ、兵權  
手ニ入リアラバ、己前ノ通リニモドリテ、制スルハ出  
來マジト云フナリ、輕詒ニ、郭昱常選ニ赴キ、書ヲ宰相  
趙普ニ献ジ、自カラ巢父許由ニ比セシヲ、朝議アマリナ  
ルヲナリトテ、久シク官ニモ調セラレザリシガ、後復伺  
普望塵自陳トイヘルモ、己前ノ通リニモドリテ、趙普ヘ  
カ、リシヲライヘルナリ、此等ノ復ノ字、並ニ本人ノ心  
ニテ、己前ノ通リニセントシテ、此ヲ為ルニ非ズ、作文ノ  
者ヨリ、其事ノ己前ノトオリニモドリタルヲ言ヘル

# 亦

ナリト心得ベシ、  
此ハ向フノ内ニノミ、此事ガマハルニセルニ、此方ノ内  
ニモ、ソレヲスハルニシテ云フニ用ユル字ナリ、詩召南  
ニ、雖速我訟亦不女從トイヘルハ、我ヲ公事ヲスルヲ  
ウナガシ、ソカスハ、ツカセ、レ、レ、デモ其女ニツキテユ  
カスト云フニナルベシト云フニテ、速セ、レ、ヤハリ速ナ  
又同様ニ、女ニツキテユカスト云フ、口モナリ、亦ノ  
例多ク其上ニ雖ノ字アリ無クテモ、ヤハリ雖字ヲ略拵  
シタル意持ニテ使フヲ多シ、幽風ニ、蝻者蝻、在桑野、  
敦彼獨宿、亦在車下ト云ルハ、蝻ハイモムシノナリ、獨  
宿ハ蝻牛ノナリ、ヲチノアカヌモノ、イワノ程ニカ、存  
シヨラ又処マテ往タルヲナリタルヲナリ、右ノ如ク、  
蝻ハ正面ニトリテ言ヒ、獨宿ハフヒモノ、事ニテ亦ノ  
字ヲ、其フヒモノ、方ニツケテ言フヲ、常例ナルガ、又フ  
ヒモノヲ上ニ言フテ、亦字ヲ置クヲアリ、果羸之實、亦施  
于字、伊威在室、蠹蛸在戶トイヘルハ、下ノ伊威蠹蛸ヲ先

ツ心ニモチテ、サテ果羸之實ヲツレニ添ヘテ言ヘル意ナレト。文字ノ上ニテハ、字ヲ云フ故ニ先ニナリタルナリ。又其上ニモ下ニモ、其正面ノ物事ハ、擧ゲ言ハサレト。語勢ニヨリテ、其正面ノハ、自カラ知ラル、故ニ只フト此字バカリヲ以言ルアリ。論語ニ、學而時習之、不亦悦乎ト云給ヘルハ、何事モ兼テフレテ念ガケ居タルカ、今ツレヲ不意ニ得レバ、心ニ滿悦スルナルガ、今學フニナシ居ルニテナレテ行フ時ニアタリテ、フト其ナシユキヤフノグアヒユ、心ニオボユルナラバ、コレトテモ、右ノ滿悦スルト云フニハ、往ザルカト云フナリ。

此字詩ニ見ユ。復字トハ別ニテ、反覆ノ覆ノコ、ロモナシ。大雅ニ其維哲人、告之話言、順德之行、其維愚人、覆謂我僭、民各有心トイヘルハ、サカサマニモツテ來テワレヲ僭シタルコトヲ言フトスト云フナリ。匪用為教、覆用為虐トイヘル、又人有土田、女反有之、人有民人、女覆奪之ト

亦 覆

云ヒ、又彼宜有罪、女覆說之トイヘルモ、同ジナリ。但シ並ニ皆其人カ、ワサトサカサマニモツテ來ルヲ云フニ非ズ、其事ノ様子カ、サカサマナルニナリテ來タルコトヲ語レルナリ。途項予門人、周防ノ南部彝ガ技養録ト云書ラ著セル中ニ、此覆字ノトヲ説キテ云ルニ、傷寒論ニ、太陽病、先發汗、而不解、而復下之、又曰、本發汗、而復下之、此為逆也、又曰、脉浮、而緊、而復下之、緊反入裏、則為痞ト云ルモ、並ニ詩ノ覆ノ字ニ本ツキタルモノナリト云ヘリ。其義ハサモアルベシ。サレトモ醫書ノ文ニ、詩ニ本ツクナド云フハアルベシキナリ。但仲景ノ頃ノ通用ニ、復、覆字ノコ、ロニ用タルナリテ、如此ニハ書タルモノナルヘシ。

也字ヲマタト讀ム。俗語ニ多シ。ヤハリ也ハ此レニハト云、ニハノ意ナリ。己ニ也字ノ下ニ詳ニス。故ニ贅セズ。此字漢ヨリ己前ノ文ニハ、助辭ニ用タルト多ク見ヘズ。史記、楚惑反道ニ舍己上居之、三月有殃、五月受兵トイヘ

還 也

ルノ下ニ因與俱出入國絶祀居之歿還至雖大當小ト云  
 ル還ノ字後世ニ用ユル還ニ似タレモヤハリマタ立モ  
 ドリテト云フニ元虚字ナリ助字ニ非ズ世說雅量ニ孟  
 嘉ガ帽ヲ落セシヌ孫盛カ文ヲ作リ嘉ヲ嘲リテ嘉ガ坐  
 處ニオキシニ嘉還見トイヒシモ厠ヨリ還リタルトニ  
 テ助字ニ非ズ助字ニ用ユルハ詩家ニハ尤多シ高適ガ  
 君不見今人交態薄黃金用盡還疎索トイヘルハ黃金カ盡  
 ルト交態モ本ノ相親ザル己前ノ如キニモトリテ疎索  
 ニナレリト云フナリ李白詩ニ潮水還歸海トイヘルハ  
 江ニ游リタル潮水ハ立モトリテ海ニ歸スルト云フナ  
 リ高適ガ一卧東山三十春豈知書劍老風塵龍鍾還黍二  
 千石トイヘルハ東山ニ三十年隱レ居タル時ニハ己身  
 ノ書劍ノ風塵ニ奔走シテ老ベシトハ思ハザリシニ老  
 シホタレタルガ立モトリテ若年ノ様子ニナリ二千石  
 禄ヲ黍賜ニナリタリト云フナリ丁仙芝ガ酒後與君  
 待明月還將明月送君回トイヘルハ酒後ニ足下ノ歸ラ

此

ントセシヲ留メテ明月ノ出ルヲ待タセシガ待サセ又  
 初ノニ立モドリ待セ又同前ニナリテ明月ヲ將テ足下  
 ノ回ルヲ送ルトニナリタリト云フナリ劉庭芝ガ古人  
 無復洛城東今人還對落花風トイヘルハ古人ハモトノ  
 洛城ノ東ニ居レリト云フハ無クテ今人が古人ノ見居  
 リタル様子ニ立モトリテ落花ノ風ニ對スルトナリト  
 云フナリ杜甫ガ謝安舟楫風還起トイヘルハ風靜リタ  
 ルヲ見テ舟ヲ出シタレバ謝安石カ如ニテ逢タル同前  
 ニテ立モトリテ風カ起リタルトニナリタリト云フ  
 ナリ  
 此字彼ト對スル字ニテ彼ニ引分ケテコチラニシキリ  
 ヲ立テソノコチラノ内ナルニ目ヲ付ケサシテ稱シ  
 テ此ト云フコトナリサレバ此此字ハ辞面ニ彼ト指  
 セルトハナクテモ其辞意ニハ必ズ物ニ引分ケタルコ  
 ノ物バカリニ心ヲトメサスルトニシテ指スコトハ  
 用ユルトナリ詩小雅ニ彼月而微此日而微トイヘルハ

彼月ニシテ光ヲ失ヒ、晦日トナル筈ナリトモ云フベキ  
カ、今此ハ日ニシテ光ヲ失ヒタルヲナリト云フニテ、心  
ヲ此ト指ス処ニ、專ラ主トシテ打カ、ラシ、指シテ言ヘ  
ルナリ。伯氏吹塤、仲氏吹篥、及爾如貫、諒不我知、出此三物  
以詛爾、斯トイヘルハ、塤篥ハ並ニ琴瑟ノ音ヲ合ス調子  
竹ノ如キモノト見ユ、其方カ伯氏ナラハ、塤ヲ吹ト思ヒ、  
仲氏ナラハ、篥ヲ吹ト思ヒテ、イヅレニモ我心ノ琴瑟ノ  
如クナルヲ、其方ノ音ト一ツニナルヲ、貫又キタル如  
クスベシト、ロニハ言ツ、其實ヲ見ルニ、我心ヲ盡スト  
コロヲ知ラズシテ、己ガ心ノマ、ニ取アツカフト見ハ  
塤篥貫トイヘル此三物ヲ出シテ、爾ヲ詛フベキゾト云  
フヲナリ、大學ニ、此之謂知本、此之謂治國、在齊家ナド云  
ヒ、必ス此之謂ト書キテ、是之謂ト書ザルハ、大學ノ明明  
徳ハ、修身ノ所ヨリ一ツヲ又キニナリタル、一物ノ動キ  
ノヲガ、身家國天下ト分チテ、其処ニテノアタリクヲ説  
キタル意ナル故ニ、文意但其事ノカ、リノ、其段ノ一切

くニナリタル処ヲ、指シ言フコ、ロニテ、是之謂ト書カ  
ズシテ、此之謂ト書キタルモノナリ、是之謂トイヘバ、其  
物ノ内ツラノ様子ヲ、目ガケテ指ス意ナリ、此之謂トイ  
ヘバ、タ、其物ガラノ処ニテ、仕ワケテ置キテ、ツレヲ指  
スコ、ロナリ、史記、去父、偃傳ニ、此之謂瓦解、是之謂土崩  
ト書ワケタルハ、瓦解ハ、封建ノ世ノ亂レクツレタルサ  
マニテ、秦漢ノ時ノ郡縣ノ模様ニハナキヲナル故ニ、タ  
ダ其物ガラノ様子ニシテ、指シ言テ、此之トイヘルナリ  
土崩ハ、秦漢郡縣ノ世ノ亂レクツレユクサマヲ語ルノ  
名ナル故ニ、其アリサマノ左、豫ニアルサマヲ抑ヘテ、其  
処ニ目ヲ付ケサセント、是之ト云ルナリ、サレバ、此ハ  
物ガラバカリニシテ、指シイヘルナリト心得ベシ、世説  
方正ニ、孫興公作使、公諫、己が身ヲ託シ寄ヒタリト云、辭  
多カリシガ、使道恩ツレヲ見テ、送リ還シテ曰、先君與君  
自不至於此トイヘルハ、是トアルベキヤフナル処ナレ  
氏事ノ然ルヲバカリヲ云ナレハ、是ナルベケレ、氏、コノ

斯

此字本ハ折也ト注シテ、斤ニテ物ヲサクナリ、サレバ其サクト云フノ、此斯ノ字ノ義ニアタルハ、刀ニテモ木ノ切小口ニアテ、ソレヲ割レバ、其木ガ其木目ナリニサケテユクヲバ、此斯字ヲ用ユルナリ。詩陳風、墓門有棘、斧以斯之、トイヘル、即チ是ナリ。呂氏春秋、趙宣孟見桑下、餓人與之脯、一胸曰、斯食之、トイヘルモ、其肉理ナリニ引サキクラヘト云タルナリ。サテ助辞ニ用ユルモ、ヤハリ其物ノ往キスチナリヲ以テ稱スルニ用ユ、但シ此

モ古ニハ多ク物名ノ下ニ付ケテ稱シ、事ニテモ、多ク其事ノ下ニ付ケテ稱セリ。詩周南ノ、蠡斯之羽、トイヘルモ、蠡ノ夕チニユク羽ナラバト云コ、口ナリ、其他、雅ニ鹿斯之奔、莛、彼柳斯、弁、彼鸞斯、トイヘルモ、並ニ鹿ノ夕チニユク、柳ノ夕チニユクノコ、口ナリ、彼何人斯、トイヘルハ、何ノ人ト云夕チニユクモノゴト云フコ、口モ夕チナリ、禮玉藻ニ、二、蕤、而言、言斯、トイヘルモ、同ジキナリ、論語ニ、魯無君子斯焉、取斯、ト云夕チニヒシハ、世俗ノ言ニ、魯ニハ君子ナシト云ヤフナル辞ハ、トコラニトリテ、此夕チナルヲ言ヒ出シタルグナリ。詩小雅ニ、我日斯邁、而月斯征、ト云ルハ、我毎日ノヤフニフメテユキ月々ノヤフニ征スルニモト云フコ、口ナリ、書金縢ニ、大木斯拔ト云ルモ、大木モ拔キタルヤフニナリタルヲナリ、戰國ノ頃ニテハ、甘茂カ傳ニ、得、一、斯、便、焉、トイヘルモ、一ツノ此夕チノ便利ナルヲ得ント云フナリ、史記酷吏傳ニ、雖慘酷斯稱、其位、矣、トイヘルモ、ヤハリ此夕チニユキ

# 維

タルハ。其位ニカナヘリト云モノナリト云フナリ  
 此ハ舟ナド流レ往カヌヤフニ木ニワナギテ引ハリオ  
 クヲ維ト云詩小雅ニ汎々揚舟縛纜維之トイヘル是ナ  
 リ蚊帳ノ四隅ヲヒモニテ引ハリフリ付ケテモツヤフ  
 ニスルカ即チ四維ト云フモノナリサテコノ字ヲ助字  
 ニ用ユル詩書ニ多クレ氏後世ノ散文ニハ用ユル  
 ナシ古人助辞ニ用ユル字ノ義モヤハリワナグノコ  
 ロニテ用ユルナリ詩召南ニ維鵲有巢維鳩居之ト云ル  
 ハヅレヲハ巢フコアルニ引ツケテハ鵲ヲ指シ云ハント云コ  
 レヲバ居之ニ引ツケテハ鳩ヲ指シ云ハント云コ  
 ナリ周南ノ葛之覃兮施于中谷維葉萋萋黃鳥于飛集于  
 灌木トイヘルモアレヲ葉ノ萋々タル処ノ一ニ引ツケ  
 テハト云コノナリ信彼南山維禹甸之トイヘルハツ  
 レヲ甸ストシタル方ニ引付ケテシタルニハアレヲ禹  
 ナリト云ハント云フナリ

# 侯

此字本ハ射侯ノ侯ニテ其物ガ向フニスワリニナリア  
 リテ人々射ル矢ヲ其ニウケルコトナルニスルノ義ナ  
 リ轉ジテ公侯ノ侯トス天子ヨリ其人ヲ封ジテ其地方  
 ノ民ノ目當ニシ頼ニヨルモノニカ、リ來ルコトナル  
 ニスルコ、口ニテ侯ト名付ケタルモノナリ詳ナルコ  
 ハ實字解人物部ニ出セリ助辞ニ此ヲ用ビタルハ周詩  
 ニ間見ユ其義ハヤハリ右ニ同ジ小雅ニ來歸自鎬我行  
 永父飲御諸友魚鱉膾鯉侯誰在矣張仲孝友トイヘルモ  
 吉甫ガ凱旋シテ京師ニ歸リタルニ久シテ軍ニカ、リ  
 旅ニアリタルハ久シブリトシテ諸友ニ飲御セントシ  
 鱉ヲ魚ニシ鯉ヲ膾ニシナドシテサマぐノ設ケヲナセ  
 ル其諸友ト名指ストコロニ目當ニナリアタルニハ誰  
 ガアルゴト云ナラバ張仲ガ孝友ナルナドガ有ルト云  
 フナリ又山有嘉卉侯栗侯梅廢為殘賊莫知其尤トイヘ  
 ルハ山人木アルニ稱シテ嘉卉アルヲ云ントナラバ其  
 名指ストコロニ目アテニナリアタルニハ栗トモイヘ



梅トモ指シ言フベキアルニ。ソレヲ指シ稱セズシテ。他  
 ノ惡水ヲノミアリト思フガ如ク。人ノ自カラ己ガ心性  
 ヲ指シ言フニモ。其善性ノ擧ゲ稱スベキアルニ。自カラ  
 其アシキバカリヲ取り思ヒ。自カラ廢シ。殘賊ノ性ノニ  
 アリト思フニナリタラバ。人ノ尤。譏ヲモ知ルナキニ  
 至ルベシト云フナリ。周頌ノ千耦其耘。徂隰徂畛。侯主侯  
 伯。侯亞侯旅。侯疆侯以。トイヘルモ。ヤハリ其名指ストコ  
 ロニ。目當テニナリアタルニハ。ト云コ。ロニテ。侯トイ  
 ヘルモノナリ。此外ニ伊ノ字アレ。此ハ彼字ノ下ニ出  
 セリ。

# 弗

此ハ此方ノ内ニ。其ガ出テ來リ合スベシトシ。承ヲ持ツ  
 ニ。向フニテノ其ガ行キザマガトマルヤフスヲ。其内ニ  
 モツフニシテユクフニナルト云フ意ニテ。物ヲハ其ガ  
 コノニカ、リ來ルフニナルベシト思フニ。向フノ内ニ  
 テ止ルヤフスヲ。其内ニモチテユキテ。此方ヘカ、リ來  
 ヌフニナリタルニシテ。語ルニ用ユ。詩小雅ニ。弗躬弗親。庶

民弗信。トイヘルハ。上タル人ヨリ下ヘ。號令教誨スルニ。  
 タトヘバ。義ヲ重シジテ。己ガ利便ニ拘ハラザルハ。人ノ  
 道ナレバ。上ニモ賞玩アルフナリト言ヒキカセテモ。上  
 ノ政利便ニ拘ハリテ。義ヲ輕ズル仕方ナレバ。上ニモ賞  
 玩アルフナリト言キカセテモ。ソレヲ信ズベキト信ズ  
 ルフニ往カヌト云フニテ。此躬親ハ。其上ノナスベキ處  
 ト見ルトコロガ。ソレニハ。ツレユクト云コ。ロナル故  
 ニ。弗躬弗親ト書ケリ。民ヲバ信スヘシト見ル處ガ。ソレ  
 ニハ。ツレユクト云コ。ロナル故ニ。弗信トカケルナリ。  
 弗問弗仕トイヘルモ。其君子ニ問フアルカトスルニ。  
 ソレニハ。ツレユキ仕ヘサスルカト見ルニ。ソレニハ。ツ  
 レ往クト云コ。ロニテ。此弗ノ字ヲ書ケルナリ。又。天  
 疾威弗慮。弗圖。舍彼有罪。既伏其辜。若此無罪。淪胥以鋪。ト  
 イヘルモ。民ヲ閔恤シ給フ天ナレ。疾威ヲ施ス時ニア  
 タリテハ。慮アルベシト思フニモ。フノフガハ。ツレテ。有罪ノ其罪ニ伏  
 ルベシト思フニモ。フノフガハ。ツレテ。有罪ノ其罪ニ伏

スルハ勿論ナレトモ、フレニ付キテハ、此無罪ノ民モ、マキ  
ゾエニナリテ、禍ニカ、ルベシト云フナリ。西漢ノ人ノ  
語氣ニモ、ヤハリ此勢ヲ以テ、此弗ノ字ヲ用ヒタリ。史記  
袁盎傳ニ、盎曰、陛下居代時、太后嘗病三年、陛下不交睫、不  
解衣、湯藥非陛下口所嘗弗進ト云ルモ、此語ノ勢、其カケ  
ニ、口ノ嘗ル所ニ非スレ、ス、メラルベキト云フアル意  
モチニ引チガエテ言フコ、口ニテ弗進ト書ケルナリ  
淮陰侯傳ニ、智誠知之、決弗敢行者、百事之禍也ト云ルモ、  
智ニ誠ニコレヲ知リタルニハ、決スルトコロニテ、敢テ  
行フベキニ、コレニ引チガエテ、行フトニセヌト云フナ  
リ。張蒼傳ニ、因故秦時、本以六月為歲首、弗革ドイヘルモ、  
革ムベキニ、コレニ引チガエテ、革ムルトニセザリシ  
ヲイヘルナリ。酷吏傳ニ、其治效、郅都、其廉弗如也ト云ル  
モ、其治ヲ郅都ニナラヘルカラハ、其廉ナルヲモナラズ  
ベキニ、コレニハ引チガフテ、其ホドニハユカザリシ  
ヲイヘルナリ。後世六朝ヨリ已後ノ文ハ、其語勢ノ全体

# 不

上ハ皮ノ拍子ニナリタル故ニ、弗ノ字ヲ用フル。至テ  
希ニナリタリ。其古文ニ擬タル文中ニハ、間見ヘタルモ  
多ク、皆古文ノ例ニヨリテ、其勢ニ法リテ書タルモノナ  
ル故ニ、格別ナル相違ハナシト知ルベシ。是字ハ非字ノ  
下ニ辨ズベシ。  
此字後世字書ニ入聲通沒切トシ、不然也、不可也、未也ト  
注シ。廣韻ニハ分物切、與弗同、今吳音皆然トイヘリ。此ニ  
據ルニ、後世字學家ニハ、不弗ヲ混同シテ、辨別セズト見  
ユ。然レト混同スベキホドナラバ、古文ニ不弗ヲ分ツベ  
キ道理ナシ。此ハ字學家ノ深ク思ハザルノ誤リナリ。今  
考ルニ、正韻ニ芳無切、與拊通、花萼跗也ト注シ。詩小雅ニ  
棠棣之華、鄂不韡々トアリテ、萼跗トアルベキヲ、直ニ鄂  
不ト書タルハ、古音跗不同ジキノ明証ナレバ、此跗ノ字  
ヲ以テ推シテ、古人不字ヲ用ヒタル意味ヲ知ルベキナ  
リ。先ヅ花ノ萼、跗ノ跗ノ字ヲ辨ゼニ、萼ハ花ノヘタノ  
其形花ヒラニ似テ、色或ハ青久、或ハ紫ト帯タルモノ

ナリ。附ハ。又其蔓ヲ枝莖ニトリ付ケテ。形細長ク六ツ或ハ八ツナド數ニ般ヲ分チテ。蔓ノ下ニ承ケタルモノナリ。此附ノ花蔓ニ於ケルハ。其姿ハ引ツキアル様ニ見ユレ。凡其全体ノ物カラハ。離レノキアリテ。引ツカ又物ナリ。サレバ不ノ字モ。右ノ如キ意味ヲ含ミテ用ユル字ニテ。打見ニハ其ガウキアルト思フヲナレ。凡其實ハソレニ付カヌ。トヲ語ルニ用ユル字ナリ。詩邶風ニ寤言不寐トイヘルハ。目カサメテ後復寐入ニトスルニ。一通リナレバ。寐入ルベキヲナルガ。左様ニ往ク。トニ名付ル。トカ其処ニ付カヌト云コ。口ニテ。不ノ字ヲ用タルモノナリ。又タトヘハ。雖知之而不告トイヘルハ。知リテ居ルカラハ。ソレヲ告グルト云。トガ付クヘキガ一通リノ。トナルニ。ソレカ付カヌトイフ。トナリ。又不老不死ノ藥ト云モ。一通リナレバ。老ニ至リ死ニ至ルベキカ。左様ニユカヌ。ト稱シテイヘルナリ。イヴレノ不字モ。並皆右ノ意持ヲ以テ。推通シテ知ルベシ。又此不字ヲ本邦ノ讀ニテ。非

# 未

ノ字ニ紛ル。處間々アリ。此ハ非字條下ニ於テ辨ス。此ハ其事ノ。マ。左様ニナラヌヲ語ル字ナリ。既己ノ反ニテ。事ノ最中ヲ目當トシテ語ルニ。其最中ニカ。ラ。又カ未ナリ。其最中ノ処ガ。モハヤ打越ヘ過タルカ。己ノ字ナリ。

# 非

是附

此字ハ人ノ物事ヲ執アツカヒ為スニ。其心ニ此ガ即チ其物ナリト心得タルヲハ。外ヨリ其心得タル所ノ物事ハ。今其執アツカヒ為ストコロノ物事トハ。筋カ違ヒテアル。トヲ語ルニ。此非ノ字ヲ用ユル。トナリ。此非ノ字。是非ニテ。是非ト云。トアルガ。コレモ世ニ率連用シテ。是非善惡ト稱スル。ト多キ故ニ。是非ト云。トハ。即チ善惡ト云ト同ジ。トナリト心得タルモノ間多シ。コレハ大ニ僻見ナリ。凡ソ人ノ物及事ヲ執扱フニハ。何事モ世間一統ノ。民ノ日用ノ規矩ニ合フト合ガル。トヲ準繩トスルモノニテ。其規矩準繩トスルハ。又律古ヨリ民俗ノ執扱ヒ來リタルオシカタヲ以テ目當トスル。トナル故ニ。ソレ

ニ付キテ右ノ是非ト云フモ起リタルモノナリ。サレバ  
 今其アル一人ノ心得タルトコロカ、右ノ世俗ニ通用ス  
 ルトコロニ叶ヒタルヲ喻シテ是ト云ヒゾレニ叶ハガ  
 ルヲ非ト云。易繫辭傳ニ、若夫雜物撰德辨是與非、中  
 不備トアルハ、中爻ト云ハ、ニカ五ナリ、九二六四カ、六二  
 九四カ、六五九三カ、九五六三カラ中爻ト云フナルガ、  
 レヲ目當ニシテ、グレヲ主トシテ、サテ其二叶フヘキヲ  
 此是ハ立テ往クベキ。此ハ立テユクベキニ叶ハヌト云  
 フヲ辨ズルト云フナリ。莊子齊物論ニ、是亦一無窮、非亦  
 一無窮トイヘルハ、戰國ノ其頃、楊子墨翟其外諸子ノ異  
 說、雲ノ如ク興リテ、吾說コソ聖人ノ道ニ協ヘリ。彼ハ協  
 ヘル說ニ非スト、口々ニ言タルカ、即チ是ト非トナリト  
 心得ベシ。サテ右ニツキテ、先其是ノ字ニ詳ニ說ケバ、元  
 來是ノ字ハ、其聞ク人ノ心ニ、其物ヲモチテ、ツレニ其心  
 ノツレニ往クニ、猶モ其外ニ別ナル様子アルヲ、其ウケル  
 心ニ持タルニ、ツレヲハ今其ツレユクソレヘ落付カス

未

ヤフスヲ、其内ニモツニシテ、合セ成スフニシテ語ル字  
 ニテ、略シテ言ヘバ、其心ヲ其モツタル処ノモノニ、十分  
 ニ打コフスフニシ、其ヲモタセテ指シ言フ辞ナリ。詩小  
 雅ニ、萋兮菲兮、成是貝錦トイヘル類ノ是ノ字ハ、是ハ貝  
 錦ナリト云フヲ成スフニナルベシト云フナリ。コレ若  
 シ此貝錦トスレバ、アチラノ物ニナラスシテ、此ノ貝錦  
 ノ方ニナルベシト云フニナルベキナリ。衛風ニ、總角之  
 宴、言笑晏晏、信誓且旦、不思其反、是亦已焉哉ト云  
 ルハ、總角ノトキニ宴セシニ、言笑晏晏、信誓且旦、タリシ  
 ニ、今ニテハ其信誓ノ様子ト相反シタルヲ思ハズトセ  
 ニ、其反セシフノ不埒ナルヲナルニ、其スヂナルヲ、其  
 夫ガ其心ニ思フヲセヌト云フ心ガ付キタラバ、モハ  
 ヤコレカギリニシテ、ヤメテシマフフニシヤフカヒト  
 云コ、ロモチナリ。唐風ニ、子有衣裳、弗曳、弗裳、子有車馬  
 弗馳、弗驅、宛其死矣、他人是愉トイヘルモ、其弗曳、弗裳、弗  
 馳、弗驅ニセシズチニユキタル衣裳、車馬ヲハ、他人ガト

リ用口云。愉樂ノ具ニ供ズルヲニナルヘシト云コ、口  
 モチナリ之字ヲ用ユルニ。此法ニ紛ル、トアリ。詩邶風  
 ニ、燕婉之求、蓬蔦不鮮トイヘルハ、此ハ其物ガラヲ指ス  
 意ハ輕ニテ、燕婉ト蓬蔦トヘカ、ル道筋ノニツアルニ  
 其燕婉ノ方ヘカ、リテ、フレヲ求ムルナラバ、蓬蔦ノ鮮  
 ナクナラヌトハアルヘシト云フ意持ナリ。魏風ニ、樂郊  
 樂郊、誰之永號トイヘルモ、誰ト云人ノ方ヘカ、リテ、フ  
 レヲ永號スルヲアラニト思フヲアラニヤト云コ、口  
 ナリ。小雅ニ、匪其止共、維王之邛トイヘルモ、王ノ方ニ事  
 ガカ、リテ、フレヲ恐レシムルヲニナルベシト云、口  
 リ。伊誰云、從維暴之云トイヘルモ、カレニハ誰カ從ヒ居  
 ルフト云ニナラバ、維ニハ彼暴客ノ方ニ筋ガカ、リテ、  
 フレヲバ供人ニツレタリト云フニナルベシト云、口  
 リ。禮大學ニ、此謂治國在齊其家、ナドアリテ、之字ヲ省キ  
 タルハ、其一段ノ処ニアタリテ、フノ主意ヲ明シタル  
 文意ナル故ニ、此之ト書クヲハイラ又故也。史記ノ是之

謂土崩此之謂瓦、鮮ト云ルノ別ハ、此字ノ條下ニテ已ニ  
 辨ゼリ。總テ是字ハ右ノ通りノコ、口モチニ使フ字  
 ナレハ、略シテハ、又コノスヂニナツテユクト云フ意持  
 ニテ見ルモヨシ。史記齊悼惠王世家ニ、是益呂氏資也ト  
 イヘル。是欲復為呂氏也トイヘル。是為孝文帝トイヘル。  
 イヅレモコノスヂニユキタルヲ文帝トスゴノスヂニ  
 往クハ復為呂氏也益呂氏資也ト心得レハ、文意カハツ  
 レズシテ通ズベキナリ。是以ト云ハ、以是ト混スルモノ  
 ナリ。以是トイフハ、是ハコノスヂニ往ク物若ハ事ノ實  
 ニアルヲオサエテ稱スルナリ。是以ト云ハ、物事ノコノ  
 スヂニ往クアルヲ推シ出シオキテサテフレヲ其今  
 ノ十サントスル処ヘ引カケテユクヲ明ス辞ニテ、是  
 ノ字虚ニシテ推シテ言ノ筋ヲ指シタルナリト心得ベ  
 シ。後世ニナリテハ、此是字ノ用ヒ方、稍ク輕ハツミナル  
 通用ノ処バカリニアテ、云フヲニノミナリタルヤフ  
 ナリ。タトヘバ蜀ノ張飛ガ長坂橋上ニ立テ、自稱シテ身

是張翼德トイヘル如キハ世人ニ名ヲ張翼德ト云ハルルモノナリト云コ、ロナリ六朝ヨリ已後モ並ニ此類ニテ推シ例スベシサテ非字ヲ言フニ史記屈原傳ニ子非三閭大夫歟何故而至此ト云ルハ讀人本邦ノ語ノ其方ハフニシヤフ誰某デハナヒカト云コ、ロナリト見ルヲナリサレ氏本邦ノナヒカト云フハタゞ通用ニナリ來リテ其語ヲサヤフ用ユル訣モナクダゞ其相子ノマ、ニ云出スヲニナリタルヲナレバ相違スルヲナト思フベシ史記ノ此語ニハ其旨ニ曲折ヲ含ミ言タル語ニテ子ヲバ三閭大夫屈原ナルヘシト思ヘ氏コレニハ非ザル人ナルガ何ユヘニコ、ニ至レルカ左様ナラズシテ三閭大夫ナレハゴ、ニ至ルベキワケアルマジト云コ、ロラ含ミテ言タル語ナリ總ジテコノ非字ハ人ノ心ニ或ハ其定マリタルスデノモノニ非ズ氏其事ハト、ナフベシト思フトコロヲ破リテ云キカスニ用ユルヲ多シ史記韓世家ニ吾所謂時者非時日也ト云ル

匪

ハ其言出セル所ノ時ト云モノヲバ聞人ガウカトキ、テ時日ノノヤフニ心得ニカトテソレヲ先ヤブリテカク云ルナリ吳王濞傳ニ寡人金錢在天下者往々而有非必取於吳トイヘルモ聞人ガ吳王濞ヨリ金錢ヲクルルト云ハ吳ノ國ヨリ取りヨセテクル、ナルベシト意得ルヲアルベシト思ヒテソレヲ破リテカクハ云ルナリ右ノ外ハタゞ筋ノチガフヲラ辨別スルヲニカ、リテ言ヘルナリ伯夷傳ニ若伯夷叔齊可謂善人者非邪ト云ルハ吾心ニハ善人ト云ベキモノト思ヘルガ右ノ心得ハフチノチガフヲナルカト問タルナリ非附青雲之士惡能施乎後世哉トイヘルハ附青雲之士ト稱ベキスチニチカフヲニナリテハ、ナニトシテ名ノ後世ニ施スヲヲ能セラレウブイト云コ、ロナリ此字非ノ上聲府尾切ニテ或竹ニ从フテ篋ニ作り竹器方曰篋トイヘリ物ヲ一所ニシテ齎ニハ引ワケテ右ノハコ入りニシテモツノ名ナリ説文又非也トモ注セリ

ヤハリ同ジコ、ロモ子ニテ、ソレトハ別ツニシテモツ  
 云コ、ロモ子ナリ、書ノ典、誥ノ文ニ、後世ノ文ナレバ、  
 非ノ字ヲ用ユベキ処ヲ、率子匪字ヲ用ヒアル、帝典匪德、  
 泰帝位トイヘルハ、德アリト云フニハ別ニシテモ子思  
 ハル、身分ナル故ニ、帝位ヲ泰辱ムルトニナルベシト  
 云ルナリ、易屯卦賁卦並ニ匪冠婚媾トイヘルハ、初メハ  
 冠ナルベシト思ヒタルガ、後ニハ婚媾ノ如ク我ヲ親好  
 スルノ人ナリト知ルベシト云フニテ、匪ノ字ヤハリ冠  
 トスルトハ別ツニシテモツテト云コ、ロナリ、詩邶風  
 ニ、我心匪鑿、不可以茹ト云ハ鑿ナリト思フトハ、別ニモ  
 ツモノナル故ニ、以テノニコラストニスベカラズト云  
 フナリ、我心匪石、不可轉也モ、石トハ別ナルモノナル故  
 ニ、コロバシヤルベカラズト云フナリ、匪席、不可卷也モ  
 同シキ三ナリ、匪女之為、美美入之、賄トイヘルハ、女ヲ美  
 トスルト有ルトハ別ナルトニテ、人ノ賄リタルヲ美  
 トスルトニテハナキカト語リテイヘルナリ、鄘風ニ、匪

直也、人兼心、塞淵駮牝三千、トイヘルハ、館人ニ命シテ、早  
 朝ニ桑田ニ出駕アルベシトアルトキニハ、其供ニ出ル  
 馬々テモ、明朝ハ間違ナキヤフニ、御供ニ出ルヤフニス  
 ベシト覺悟シテ、心ノ支度ヲ油断ラセ又ト云フヲ兼心  
 塞淵ト云タルモノニテ、其匪直也人ハ、タゞ一通リニ人  
 バカリト云トハ、別ニシテモツトニテト云フニテ、駮牝  
 三千ハ、即チ馬三千モ同ジク兼心塞淵セリト云フナリ  
 小雅ニ、匪言勿言、匪由勿語ト云ルハ、言フヘキ筋ニハナ  
 レタル別スチノトニハ、言フヲナカレ、其ニカハリテユ  
 ク筋ニハナレタ、別スチノトニハ、語ルヲナカレト云フ  
 ナリ、周頌ニ、匪且有旦、匪今斯今、振古如茲トイヘルハ、フ  
 トスワリテ、ブレカフトスワリタルトアリト云トハ、別  
 スチノトニナリ、今ノ當世ニテ、カ、ル當世ニスルト云  
 フトハ、別スチノトニナルトニテ、振古ヨリ今ノコ、ノ  
 トオリニスルトナリト云フナリ。

無

物ノ其処ニツクナクシテ其処ノアルヲ無ト云即有  
ノ反ナリ今少シ細ニシテ釋セバ此所ニアリト思フベ  
キガ無シニアルト云フキ三ナリ老子ニ無名天地之始  
有名萬物之母故常無欲以觀其妙常有欲以觀其徼此兩者  
同出而異名同謂之玄之又玄衆妙之門トイヘルハ天  
地ハ常ニアリテ萬物ヲ常ニ出スルモノナル故ニカリ  
ニ先ツ一ノ無ト云モノヲ立テソレヲ天地之始ト名付  
ク一ノ有ト云モノヲ立テソレヲ萬物之母ト名付ケテ  
其天地ノ始ノ無ヲバイツモアルニシテ立オクベシコ  
レハソレヲ以テ其妙ナルヲ觀センヲ欲スレバナ  
リ其萬物之母ノ有ヲバイツモアルニシテ立オクベシ  
コレハソレヲ以テ其アタリノシキリノ立ツ所ヲ觀セ  
ニヲ欲スル故ナルガサテヨククツレヲ觀シ見ルニ  
其無ト云ハ有ト云ニヨリ名付ケ言ヒ有ト云モ無ト云  
ニヨリテ名ヲ起シタルモノ故ニ此有ト無トハ其打合  
ヒノツマリノ所ガ畢竟一ツニナリテワカレノ立ヌト

トナル故ニソレヲ妙ト稱シ云ヒ又同謂之玄トイヘル  
ナリサレモコレヲ玄同ト觀ル心ニハ尚其コレヲ差別  
スルトコロノ意ヲ帶タル故ニ更ニ又其差別スルノ意  
ヲステタルトコロガ玄之又玄ト云モノニナルト云  
衆妙之出ツルトコロヘバ此處ヨリ入コマルト云コ  
コロヲ示シテ衆妙之門トイヘルナリサレバ總シテ有  
ト云ヒ無ト云フノコロモチハ已前ニモ述タル如ク  
トカク先暗ニ其物ノ有無ヲウツシアラハスノ地面ア  
リテサテ又其有無ヲムカヘ見テソレヲ見トル精神ノ  
相手アルトナリト云フヲ考ヘ知ルベシ故ニ周易乾卦  
上九ニ亢龍有悔ト稱シタルコトハ乾上九ノ徳亢龍  
ノ如クニユクニナレバ其亢龍ノ如キ行ヒノ往ク先  
ニテハ悔ル心ノ起ルトニ出合フアルベシト云フナ  
リ其他卦有悔ノ義並ニ此ニ同シ復卦六五ニ敦復无悔  
ト云ルハ亦右ノウラニテ敦行ニシテ已前ノ其本ヲ始  
メタルトコヘ立モドリクシテ復スルトニナシユクニ



ハ其サキニナリテモゴレハ悪キヲナシタリト悔思  
フヲノアルニ出合フヲナカルベシト云フナリ咸九五  
无悔ナドモ同ジヲナリ恒九二ニ悔亡ト云フアリコレ  
ハ无悔ト同ジカラズ悔ルコトニテアリタルガヤハ  
リ悔ルニハ及バヌフニテ却テコレハヨキヲナシオ  
キタリト思フコトニナルヲ悔亡ト云ルナリト心得  
ベシサテ又無ト不トノ差別ヲ辨ゼントナラバ先ツ人  
ノ物事ヲ人ニ對シテナシユクニ其彼人ト此人トノ間  
ニ於テ三段ノワカレアルナリ其一段ハ此人ノ心ヨリ  
出テ言行ニナシ出シユク処ノ様子ナリ此ヲ施段ト名  
付久次ハ其ナシユクトコロノワカレキテユク処即チ道  
ナリ其次ハ其ナシユクトコロノ言行カ迹ヲ著ケテ彼  
人ノ見ルトコロニウツリテ物ヲナス処此ヲ承段ト名  
付久不字ハ施段ニ出ルトコロノ様子ノ上ニテ稱ス又  
トハバ不言不語不笑不思不仁ナド並ニ其施段ニ出ツ  
ヘキカ出ヌカ又ハ出サズルヲカタルナリ無ハ承段ニ

テ人ノ目ニウツルトコロニテ稱ス又トハバ無禮無言  
無語ナトナリ論語ニ人而無信不知其可也ト云タマヘ  
ルハ人ニテアリナガラ其言行ノ人ニウケ見ラルト  
コロノ迹ニテ人ヨリアルガ言行ハ信ニナリユクハナ  
キ者ヅト思ハルト一ニナリアリテハ孔子ノ心ニ其人  
ノ志業ノナリ往キテ相シ觀タマフトコロニテ其ユク  
サキガ此ニテハ遂ゲユカルト一ニナルベシト云フノ  
アルヲ知ラズト云フニスルトナリト云フナリ詩鄘  
風ニ人而無儀不死何為又人而無止不死何俟又人而無  
禮胡不遄死ト云ルモ並ニ上ニ同ジ又乃如之人也懷昏  
姻也大無信也不知命也ト云ルモ左様ニユク人カラナ  
ラバ昏姻ノ好ニナツミテ故舊ヲ忘レユクトニナル故  
ニ其言行常ニ新ヲ逐フテウツリユキカハル故ニ人ノ  
見ウクル所ニテ大ニ信ナシト云モノニナリユクベシ  
自カラ其心ノ中ニ天ノ命ノウゴキ命スルヲアルヲ知  
ラザレバナリト云フナリ邶風ニ我思古人俾無訛兮ト

云ルハ我ハ心ニ常ニ古人ヲ思ヒテ古人ノ心モチヲ己  
 ニウツシユクニシテ我言行ノ迹ノ人ノ見承クル所  
 ニテ無説ト名ヲ付ラルモノニナラシメト云フ十  
 リ又此無字ニナカラントヨシテ其ガ人ニ見承ラル  
 処ノ様子ヲ推思ヒテ言フニ用ユルトコロモアリ詩大  
 雅ニ庶無罪悔以迄于今トイヘル是ナリ書ノ洪範ニ無  
 偏無黨王道蕩々トイヘルモ其政事ニ施ス萬端ノ仕ム  
 ケノ人ニ受ケ見ルトコロニテ無偏無黨ト名ノ付ラル  
 様子ニユク事ニテ王タルノ道ハ蕩々タルモノナリト  
 云フナリ史記魏其傳ニ然相得驩甚無厭恨相知也ト  
 イヘルモ其相交ル間ノ両方ノ互ノ心持ノ人ニ見承ク  
 ル様子ニ厭ト云フノ付クナクテト云フナリ張釋之  
 傳ニ於是釋之追止太子梁王無得入殿門ト云ルハ太子  
 ト梁王ガ殿門ニ入ラントスルトコロヲ追來リトメ  
 テ太子ニモ梁王ニモ殿門ニ入ルヲ得テ其禁止スル  
 ヲヌケルニユクナカワタト云フナリ又晋ノ阮瞻

ニ人ヨリニ教ノ異同ヲ尋子タルニ阮瞻將無同トコタ  
 ヘタルヲ其頃ニモ甚タヨキ對ナリト云後ニハ阮ヲハ  
 三語椽ト號シタルヨシナリ然ルニ此將無同ノ辭後世  
 ニテハ其義ヲ失ヒテサマクニ其義ヲ取リテ定マラガ  
 レトナルガコノ意ハ畢竟ノ処ハ同ジク無シト云フニ  
 ナルデアラフト云フニテ其語ノ趣自專ナラスシテ讓  
 リタル意味ニヨリテ名言トシタルナリ此將無ハ將不  
 ト同ジキニナリ世説言語ニ謝靈運好戴曲柄笠孔隱士  
 謂曰卿欲希心高遠何不能遺曲蓋之貌謝答曰將不畏影  
 者未<sub>レ</sub>能忘懷トイヘル是ナリ畏影ノト莊子ニ出テ畏影  
 ヲ疾走リテ死シタルモノアリト云フナルガ謝ハ右ノ  
 如ク問レテ始メテ自カラ心付キタルガ彼畏影者ヲ未  
 能忘懷ト云フニ思ヒガユカザリシニヨリテノトデア  
 ラフト云タルコノ口モチナリサテ此ヲ禁止ノ辭ニ用  
 ルトキハコレモ其事ヲナシユク先キニテカヤフナル  
 トヲアルトニシ見ラルトナキヤフニセヨト云フ

口ニ用ユ。論語ニ、無友不如己者ト云々ヘル友ハ朋友  
 ナスルナト云フニハ非ズ付キ合ヒ口上ヲ云フノ無キ  
 キフニシテユクフニセヨト云フナリ。弟子ハ其師ヨリ  
 其心モチヲ推スニ、其才、學、已ニ如カズト思フ故ニ、己ニ  
 從ヒ學フナリ。其他少年子弟ノ、長者德藝ノ長シタルモ  
 ノニ於ケル、並ニ是心ヲ持シテ相向フモノナルヲ、師長  
 ヲリ其カ言ノ不當ナルヲモ、付合ヲ言ヒテ尤ナルヲ  
 ノ様ニ言フトキハ、是ハ其人ノ心得ヲ誤ラスヲニスル  
 一ニナリテ、忠ヲ主トスルヲ、此一條ニテ其例ヲ擧ゲ  
 テ示シタヘルナリ。史記留侯世家ニ、楚人酈疾、願上無  
 與楚人爭鋒トイヘルモ、其コレト相拒ノ間ニ、楚人ト鋒  
 ヲ爭フト云フ名目ニカ、ルシカタノナキヲラシテユ  
 ケヨト云フ心モチナル故ニ、無ノ字ヲ用タルモノナリ  
 楚唯無疆トイヘルモ、楚ヲアシラフ仕方ハ、一圖ニ楚ヲ  
 ハ其勢ノツヨクナルマフナルヲニユクヲナキヤフ  
 ニ、くトシテユクガ第一ナリト云コ、口ナリ

母

此字ヤハリ無ノ字ニ似テ、其趣少シク異ナルモノナリ  
 シカルニ後世ニテハ、此字ヲバ、微夫切音無トシテ、無ト  
 同トシ、但字形ニヨリテ、但禁止ノ意モチニ用ユル字ナ  
 リト心得ヘテ、説文ニ止之也、从女、有、一畫象、母之形、禁止  
 之、勿令姦トイヘルヲ、バ、專ラ第一トシテ、主張スルヲニ  
 ナリテ、父母ノ母ノ字ノ莫原、切音某トハ、格別ノ口、口  
 ナリト心得タルヲナリ、サレ、母其字形、女内ニ一畫アル  
 母字モ、又禮記郊特牲ニ、母、追夏后氏之道也トアルニハ  
 送、海、切音謀ニテ、父母ノ母音某ト相近シ、コレヲ以テコ  
 レヲ思フニ、後世ニテハ、母ノ字ノ無ノ字ト別ナルコ、  
 ロモチアルヲ失ヒ、無ト同シトニテ、別ナシト心得タル  
 母字、字形別ナル故ニ、禁止ノ意持ナルトキニ、此字ヲ書ク  
 一ナリト心得タルモノナルベシ、サレ、母前ノ無ノ條下  
 ニ述タル如ク、無ノ字ヲモ、禁止ノ辭ニ用ユルヲナレハ、  
 母ノ字無ト同音ニテハ、母ノ字ヲ書タル詮ハ、ナキヲナ  
 ルベシ、コレヲ以テ思フニ、古音ハヤハリ音某ニテ、父母

ノ母音謀ト近クシテ時アリテハ母ノ字トモ通用シテ  
 書タルヲバ後世字學家文盲ニテソレヲ失ヒタルモノ  
 ト見ユサテ此母ノ字ノ無ノ字トノ差別ハ無ハ上ニイ  
 ヘル通りニテ後ニ引クナシ母ハ後ニ引クアリ全  
 体ノ字意ハ向フニテ其ヲノケタルヲ此方ノ内ニツ  
 ケルニシテ其往先ノ内ノトマリマデニソレニツケ  
 テモツテスエルト云フニテ畧シテイベバ無キニシ  
 テサテソレニシテユクナリ禮曲禮ニ母不敬ト云ル  
 ハ敬セヌト云フノナキニシテドコマデモソレニシ  
 テユケト云フ意ナリ臨財母苟得臨難母苟免狼母求勝  
 ナド並ニ皆同ジコ、ロモチニテ畧其ヲナキヤフ  
 ニ覺悟ヲスエテカ、ルベキヲ教ヘテ云ニトテ此母  
 ノ字ヲ用タルモノナリ又曲禮ニ母側聽母噉應母淫視  
 母怠荒遊無倨立無跛坐毋箕ト云ルニ同ジク禁止ノ辭  
 ニテ無ト母トヲ書キ替テ用タリ母ハ右ニイヘル如ク  
 ナキヤフニ覺悟ヲスエテカ、ルベキヲ教ヘテ云ルナ

母

リ遊無倨立無跛ハ其遊ノトキ立ノトキ人己カ形体ノ  
 持チカタニテ左様ニ身ノ体ノカヘヲモチテ人ノ目  
 ニ見ラル、ヤフニスルナキニセヨト云コ、ロモチ  
 ニテ無ノ字ヲ用タルモノナリ坐ノ箕踞スルハ己ガ心  
 ニ最初ヨリソレナサバ覺悟ニテ居ルベシト云フニ  
 言ハザレバ遊ノ倨立ノ跛ノ當分ニフト出ルトトハ別  
 ニ分ケテ又母ノ字ヲカキタルモノナリ論語ニ子絶四  
 母意母必母固母我ト云ルハ人ノ言フ又ハ其行ヲ見  
 ルニ付ケテ邪スイヲ起シテソレヲ以テソレニ應ズル  
 様ナルヲバ、イカニシテモ出サヌヤフニシテ覺悟ヲ  
 スエテ萬端ヲ執アツカヒ給ヘリト云フナリセヒニカ  
 ヤフニスベシト云フト己前ノ通りヲ趣意ヲ替ル  
 ナク堅意地ナルトソレニテ我身ノ一分ガスタルト  
 云フト是等ヲイカニモシテ出サヌヤフニ覺悟ヲスエ  
 テ執アツカヒ給ヘリト云フガ餘ノ三母ナリ母ノ字ト  
 カクソレヲ出サヌトニシテスハル意ナル故ニ絶四ト

イヘルモノナリ。詩鄘風ニ母也。天只不諒人。只ト云ル辞。少シムツカシキ辞ナリ。母ノ字ヲバ。後世ノ解ニ。父母ノ母ノ字トテ。天只ヲ母ト云フ。天ノ如シト云フニシテ。説ルハ。母ト母ヲ別字ナリトシタル心得ヨリ出タルナガラ。此前十髡彼兩髡實維我儀トイヘルニハ。兩髡ヲバ。父母ヲ慕ヒテ忘ル。ナキヲ表シタルトシ云ルニ。此處ニイタリテ。忽ニ父ノヲ棄テ。母ノヲバカリニシテ言フベキ理ナケレバ。是全クノ僻説ナリ。明ナルベシ也。ノ字ノ上畧析アリ。即前ニ髡彼兩髡ヲ實維我儀トシテ。之死矢靡他ト云フ志ノアル處ニハト云フコト。畧析シテ也。ノ字バカリヲ用タルモノニテ。母也。天只ハ。此ノ如キ心ノ立チタルトコロハ。己ガ生レ付キノ天然ナリトバカリニスルヲナカレ。人ニマコトナラズト云フ。ナリユクベシト云フナリ。サテ此母字ヲバ。又無ノ字ノ如クニ用タルハ。史記酷吏傳ニ。冬十二月郡中母聲ト云ルハ。郡中ニ聲タツルモノナキ。ナリユクベシト云フナリ。又

莫

ク。ナツテ往タト云フナリ。匈奴傳ニ。毋城郭常處耕田之業。然亦各有分地トイヘルハ。城郭常處耕田之業ハ。ナキ。ナリユク。ナレ。モ。分地ハ。アルト云フナリ。秦始皇紀ニ。身自持篠車。脛母毛臣。虜之勞不烈。於此矣トイヘルモ。身自カラ篠車ヲ持シテ。ハタラケルニ付ケテ。脛ニ毛ナキニナリユケルハ。臣虜ノ勞トテモ。此ヨリ烈シクハナキ。ナリト云フナリ。此字ハ向フノ内ニ。其物ノノキテアルト云フヲ。向フノ内ノトマリマデニ付ケテ。スハラスト云フナリ。略シテ言ヘバ。其向フノ内ヨリ。其物若ハ事ノ。此處へ出テ來ヌ。トテ。語ルニ。莫ト云。論語ニ。君子之於天下也。無適也。無莫也。唯義之與比ト云々。ハ。君子ノ天下ノ事物ニ於ケルニハ。此事ニハ。君子ノ適スルト云フモナク。此事ニハ。其ワザノカ。リ來ル。ハ。出テ來ヌト云フナシト云フニテ。莊子人間世篇ニ。其安之也。莫トイヘル。莫ニ同シクシテ。莊子ノ意モ。其コレニ安スルト云フニハ。其カ

出テ來又フニナルト云フナリ。易繫辭傳ニ法象莫大乎  
 天地變通莫大乎四時ナドイヘルハ此前ニ吉凶生大業  
 トイヘルヨリ此莫大ノ稱ヲ言出シタルモノニテ凡物  
 事ニ其法象ヲ取ル中ニテハ天地ヲ立テ法象トスルヨ  
 リ外ニハ更ニ大ナリト云フハ出テ來又ト云フナリ變  
 通ノ大ナルニ四時ヲ立ルノ外ニハ更ニ大ナリト云フ  
 ハ出テ來又ト云フナリ詩小雅ニ如水之方至以莫不增  
 ト云ルハ水ノ今出テ來ルヤフニアルナラハ水ノカサ  
 ノ増サ又ト云フハ出テ來マヅト云フナリ又云民莫不  
 敷我獨何害トイヘルハ孝ノ道ハ民ニ善シトセザルモ  
 ノハ出テ來マヅキニ我ニハヒトリ何トテ害アリト思  
 フフナルゾト思ヒモトメヨト云フナリ齊語ニ天下大  
 國之君莫之能禦也ト云ルハ齊ノ勢疆盛ニナリテハ天  
 下ノ大國ノ君タリトテモゾレラ能クアセグフラスル  
 モノハ出テ來マヅト云フナリ史記孟嘗君傳ニ孟嘗君  
 將入秦賓客莫欲其行諫不聽トイヘルハ孟嘗君秦ノ國

微

へ入ラント思ヒ立テルニ賓客ニ一人モ其行ヲ欲スル  
 モノ出テ來ルナクテ諫ムレモ聽入レズト云フナリ  
 匈奴傳ニ漢與匈奴間中有棄地莫居千餘里云ルハ漢  
 ノ匈奴ノ間ノ中ニ棄タル土地アリテ匈奴ノ民モ漢  
 ノ民モ其棄地ノ處一居ヲナサントシテ出テ來ルナ  
 ナキアヒダノ場処千餘里アリト云フナリイヅレニモ  
 此莫ノ字ハ物ノ内ヨリ此處へフレニナリテ出テ來ル  
 一ノナキ一ヲ云ニハ並ニ此字ヲ用ユルナリ  
 此本其物ノ有ルガ無キ同前ニ見ユルヤフナルヲ云  
 フ字ナリ幽微精微細微微小微茫微妙微忽ナドニテ其  
 餘ヲモ推シ知ルベシ助字ニ用ユルトキハ其アルナ  
 ナキ一ニシテ見ルトコロヲ設ケテ言フニ用ユルナ  
 リ左傳昭元年ニ劉文公曰微禹吾其魚乎ト云ルハ禹ガ  
 昔洪水ヲ治メラレシナクハ此邊モ皆水ニナリアリ  
 テ吾生ヲ受ルモ魚ニナルナクハ人ニハアルマヅト云  
 ココナリ論語ニ微管仲吾其被髮左衽ト云給ヘルモ

管仲夷狄ヲ攘ルノ功ナクバ中土モ皆夷狄ニナリ云吾  
 毛夷狄ノ被髮左衽ノ俗ニテアルベシト云ナリ詩ノ  
 邶風ニ微我無酒以遨以遊トイヘルハ酒ガ無ケレバ遊  
 遊スベキノ資ナキナルガ其無酒ト云辞ヲ云ナリ十  
 キトニシタルニスルハ有酒ナリ有酒トテモ隱憂アリ  
 テハ其酒アルヲ以テ遨セニ以テ遊セニト云ハルベキ  
 ヤト云ナリ又式微式微胡不歸微君之故胡為乎中露  
 トイヘル式微ハ下ノ微君之故ノ辞ヲ畧析シ微ノ一字  
 ラ以テ其意ヲ含蓄サセテ擧ゲ言ルモノニテア此ガ  
 ナクバくト云コ、ロモチヲ立テ、フレニ見アハス  
 ニシテ往クトニスルナラバト云フコ、ロガ式微式  
 微ナリ右ノ如クシユクトキハオレハナゼニ歸リテシ  
 マワ又ゾト云ナシト云ガ胡不歸ナリサテ下  
 ノ二句ハ其式微ニ折レタル全意ヲアガテ見セタ  
 ルモノナリ君ヲ下地ノナジミナリナスルナクハナ  
 ェ箇様ナルナシギナル供ヲシ從フテ中露々デニモス

靡

ルゾト云ナシト云ナシト云カバ終ニハ胡ニ歸ラガ  
 ニ右ノ通りニ思フナシユカバ終ニハ胡ニ歸ラガ  
 ルゾトイヒテ其從行ヲ遂マシト云コ、ロハ漢已後  
 ニハ微ノ字ヲ此ノ如クテ宛曲ニマワシテ使ヒタル  
 ヲ見ズシテタバ上ニ引タル左傳論語ノ氣味ニノ三用  
 タルモノ多シ是ヲ以テ思フニ漢ノ頃ノ人古文ノ文字  
 ヲ用ユレ其義旨ヲ全ク得ザル故ニ其文字ヲ已ガ神  
 用ニ合シテ自在ニ用ユル能ハザル故ト見ユ此ニテ  
 其餘ノ文字モ皆周漢ノ用ユル所ニテモ寓旨ノ淺クナ  
 リ同シカラザルヲ知ルベシ況ヤ漢已後ノ其旨ノ方ハ  
 リハ尚更淺クナリタルナリト知ルベシ  
 此字ハ元來物ノ風ナドニ吹カレテナビクヲ云字ナリ  
 風ニ吹ルレハ其勢ニツレフカレテ動キ往キ又立モト  
 リテハ風ニツレフカレテ動キユク旌靡烟靡柳靡草靡  
 ナド連用ス又莊子ニ第靡ト云ルハ民情ノ物ニ從ヒ靡  
 キテユクヲイヘルナリ風靡ト云フモ同シキ三ニ元

此類ノ靡ノ字ノコ、ロ、タトヘバ將棊ノ駒ヲ重子カケ  
 ナラベラキテ其端ヨリソレヲ衝ケバセニグリニモタ  
 レカ、リクテタオレ往ク其勢ニ從ヒ承ケユクトコロ  
 即チ靡ナリ助字ニ用ユルニモヤハリ右ノコ、ロモチ  
 ニ似タルコトナリ聞人ノ意モチニハ其方ノ内ニソレガ  
 有ルコトアラント思ヒサガシユクナルニ對シテ其物ノ  
 其内ニノキタル様子ヲ察略シスエテイフナリ畧シテ  
 言ヘバナケント云フコ、ロナリ詩邶風有懷于衛靡日  
 不<sub>レ</sub>思ト云ルハ衛ノ地ヲ心ノ内ニナツカシク思フコトニ  
 ハ一日トメ思ハズト云フハアルマヅト云フナリ小雅  
 ニ胡轉予于恤靡所止居トイヘルモ瓜牙ノ士ヲ恤スベ  
 キトコロニテ向ヘラシヤリテノケルコトニシテハ其方  
 ノ身モ止居スルトコロガ無キコトナルベシト云フナ  
 リ又云國雖靡止或聖或否民雖靡盬或蓓或蓓トイヘル  
 ハ國朝ノヤフスヲオシハカリテシハアルマヒトス  
 ルトテモ聖ナル臣モ否ナル臣モアルベシト云フヤクヌ

泰

ヲオシハカリテ聯ナルコトハアルマヒトスレトモ哲  
 ナルモ謀ナルモアルヘシト云フナリ究竟ノトコロ莫  
 ハコチラヘ出テ來ヌヲ云ヒ靡ハ其内ノオモイリモ  
 ナメテモアルマヅト云フコ、ロニテ其意ウラオモテノ  
 相違ナリ前漢ノ頃ニモ古雅ニ文體ヲ作ルニハ詩書ニ  
 ナラヒテ靡字ヲ用ユ司馬相如上林賦ニ四海之内靡不  
 受獲ト云ルノ類コレナリシカシ必シ相違アリテ大方  
 獲ヲ受ケズト云フハアルマヅトオモハル様子ナリ  
 ト云フコ、ロニシテ用タリ封禪書ニ若然之是泰山靡記  
 而梁父靡幾也トイヘルモ泰山ニハ記スルコトナキコト  
 ナツテユカフ梁父ニハ幾スルコトナキニナツテユカフ  
 ト云フニテウワサノ様子ニカケテ云キニアリ是詩經  
 中ノ用法ト必々ノ相違ノアル外ノモノナリ  
 此ハ存ノ反ナリナクナリタルベシト思ヒシガアルハ  
 存ナリ其内ニアルベキハツナルガナクナリタルガト  
 ナリ此ヲ無ノ字ノ如クニ助辭ニシ使フコト戰國ノ頃ノ

亾



文ニ律々見ユ。史記白起傳ニ、則君之所得民、幾何人ト  
 アルモ。此ハ字ヤハリ虚字ニ用ユル勢ヲモテ、所得ノ  
 民多カルベシト思フニ、幾何人モアルハ、幾ト云フナリ。  
 秦策范雎カ書ニ、亡其ト連子テ使タルヲ數見ユ、此其言  
 臣者賤而不可用、糸トイヘルモ、臣ヲバ賤ニシテ用ユヘ  
 カラズト言セルモノアルベシトオモフヲナルガナキ  
 カト云コ、ロナリ。  
 此ハ向フノ内ニ、其ノキタル処ノヤフスヲウケニモツ  
 ヲテ、其シハヒニナルマデノサキノ内ヲハ、スエテ云フ  
 ナリ。網ノ目ニ鳥ノカ、ル処ナクテ、網ヲツクシテ、其カ  
 カリタルヲノナキヲ云コ、ロナリ。詩大雅ニ、神罔時怨、  
 神罔時恫トイヘルハ、文王ノ其祖先ノ心ヲ敬シテ、ソレ  
 ヲ體任シテ、百事ヲトリアツカニ給フトコロヲ、旁人ヨ  
 リソレヲ思ヒハカルニ、其祖先ノ神靈、レ思ヒ、コレニコ  
 ツ怨ラルベシ。恫ニ思ヒ給フベシト云フガ、其内ニドコ  
 マデモトシトカ、ルヲナシニアルト云フナリ。又云、民

罔

之罔極、職諒善背トイヘルモ、民ノ言行ニ信ヤクテ、コ、  
 グ其クルワヌトマリト云フナキハ、職トスルトコト、  
 ナリトシテ善ク背ク故ナリト云フナリ。又、小非ニ欲報  
 之、德昊天罔極トイヘルハ、父母ノ恩ノ其子ニ於ケルト  
 コロノ徳ヲ子ヨリソレダケヲ報ゼントスルニ、父母ノ  
 恩ハ、至深至大ニシテ、昊天ノドコヲ極トスルノ人、其サ  
 キマデモツカヌヤフナルモノナリト云コ、ロニテ、罔  
 極トイヘルナリ。此モ漢ノ司馬相如ガナラヒテ用タル  
 アリ。封禪書ニ、續昭夏崇禘、蓋略可道者、七十ニ君罔若淑  
 而不冒トイヘルモ、此七十ニ君ノ内ニ、其淑ナルニシタ  
 ガフニモ、昌ナラヌト云フハ、一人モナキヲ云ハントテ、  
 罔ノ字ヲ用タルモノナリ。又詩大雅ニ、顛覆厥德、荒湛于  
 酒、女雖湛樂、從弗念厥紹、罔敷求先王、克共明刑ト云ルモ、  
 其方ノ身ハ、湛樂スルモ、ソレニツキテハ、其方ノ後ヲ紹  
 ク子孫ガソレヲ見ナラヒテ、先王ニ敷求メテ、明刑ニ克  
 共スルモノガ一人モナシニナルベシト云フヲ念ヒ付



ソノ憚ルワガヲトメテ、スルナト云フコナリ。總別ノ禁  
止ノ辞ノ差別ハ、事ヲ箇條ニ立テ、ソレヲ其行ノ内ニ  
ナキヤフニ心得ハスルガ、無ナリ、無キヤフニシテ、始終  
ソレニシテ、エカスコ、口ナルハ、母ナリ得テハ其出テ  
來ルヲトメテサセ又ハ、勿字ナリ。

助字詳解卷之二

終

一用時 十一 辭 十六 助字 十九



